

2. 評価用PDM (オリジナルPDM)

プロジェクト名：アフリカ人作り拠点プロジェクト
 プロジェクト対象地域：ケニア、ウガンダ、タンザニア

2002/7/11作成

	指 標	指標データ入手手段	外部条件
最終上位目標： アフリカの貧困が削減され、経済・社会開発が進展する。	各国の貧困削減指標の改善。	PRSP統計	対象3カ国の貧困削減対策が変わらない。
上位目標： 貧困削減への取り組みが、育成された人材により進展する。	育成された人材による研究、研修などを通じた貧困削減活動への貢献度。	AICAD事業統計	対象3カ国の政情・治安が安定している。
プロジェクト目標： 東アフリカ3国の共同プロジェクトとしてのAICADの組織・事業が確立し、貧困削減に資するアフリカの人材育成が図られる。	①資金と人員の投入量。 ②大学の研究者等の貧困問題への志向性の向上(関与する活動の増大)。 ③研修の受講者や研究開発の普及活動に携わる人数。 ④人的ネットワークを介した貧困削減活動への効果。	政府統計 AICAD事業統計 AICAD事業統計 AICAD事業統計	対象3カ国の政情・治安が安定している。
成果： ①貧困削減のための研修事業が確立する。	①研修事業の運営システムが確立される。 ②研修内容の有効性。 ③貧困削減に資する研修実施回数。 ④研修後、受講者が貧困削減活動へ参加した回数。	AICAD活動実績	
②大学の研究者等による貧困削減のための研究開発支援事業が確立する。	①研究開発支援事業の運営システムが確立される。 ②支援研究内容の有効性。 ③貧困削減に資する研究開発支援実施量。 ④実施中及び実施後の研究者とコミュニティとの連携量。	AICAD活動実績	
③貧困削減のための情報ネットワークが整備される。	①情報ネットワークの運営システムが確立される。 ②人的資源の情報量。 ③知的資源(ニーズ、有用な知見)の情報量。 ④蓄積された情報へのアクセス量と発信量。	AICAD活動実績	
④AICADの企画・調整能力が向上する。	運営体制の比較	AICAD組織体制	
活動：	投入		
1-1 ニーズに基づいた研修テーマを策定する。	日本側		前提条件 対象3カ国において貧困削減が最優先課題として位置づけられる。
1-2 普及員やNGOを対象とした貧困削減に関連する研修を実施する。	専門家派遣 - 長期専門家 - チーフアドバイザー、調整員、人的資源開発、情報・広報 - 短期専門家		
1-3 効果的な研修を実施するためのカリキュラムや教材を開発する。	農学、社会科学、土木工学など必要に応じ派遣 研修員受入れ - 本邦研修及び第三国研修(受入れ) 必要に応じ受入れ		
1-4 研修受講者の研修後の活動を追跡調査し、フィードバックデータを蓄積する。	域内研修 - 現地国内研修及び第三国研修(実施) 研修計画に基づき年間4-5件の研修を実施 機材供与 - 必要に応じ研修機材等活動に必要な機材を調達		
1-5 ワークショップを開催し、研修から得られた成果を普及する。			
1-6 セミナーを開催し、関係者間で知見が共有される連携を強化する。			
2-1 貧困削減に関するニーズと人的資源の調査・研究を行う。	アフリカ側		
2-2 貧困削減に寄与する実用的な適正技術の研究開発テーマを選定する。	人的投入 - AICAD職員(AICAD本部施設の供用開始時に少なくとも15名。プロジェクト期間において52名)		
2-3 選定された研究開発を支援し、モニタリングする。	施設及び機材 - 研修・宿泊施設 - 日本人専門家の執務室 - 研修に必要な機材 - 事務用品などの消耗品		
2-4 貧困対策に有用な既存研究を見直し再活用する。	予算措置 - AICADの運営に必要なスタッフの給与、光熱費などの経費		
2-5 貧困削減に有用な適正技術データを蓄積する。	- 研修・宿泊施設の維持管理費		
2-6 上記研究開発に関する結果を統合し、コミュニティで実践できる技術を開発する。			
3-1 研修受講者のネットワークを形成する。			
3-2 研究者のネットワークを形成する。			
3-3 協力関係機関のネットワークを形成する。			
3-4 蓄積された貧困削減に関するデータベースが共有される基盤を構築する。			
3-5 貧困削減に有用な情報提供を継続する。			
4-1 AICADでの活動を通じたスタッフの訓練を実施する。			
4-2 AICADの運営規定を整備・改善する。			

3. PDM改訂版

プロジェクト名：アフリカ人造り拠点プロジェクト（フェーズ2）
 プロジェクト対象国：ケニア、ウガンダ、タンザニア

修正日 10/11/2004

プロジェクトの要約	指標	指標の入手手段	外部条件
上位目標 貧困削減に資する人材育成分野において、アフリカにおける指導的機関となる	人材育成に基づいた貧困削減プログラムで、成功したものの数（アフリカにおける他の機関と比較する）	1. AICADリソースセンター及びネットワークに所蔵の統計	各国における政治的、治安的な安定が継続する AICADが創造した知識・技術パッケージが効果的・積極的に活用される
プロジェクト目標 AICADが、知識・技術とその実用の間を効果的につなぐための構造的、機能的な仕組みを確立する	1. 仲介者及びコミュニティの、知識・技術の発掘、創造及び移転への参加レベル 2. 参加型アプローチを反映した、規模拡大のための基準がある 3. 知識・技術の創造、翻訳（加工）及びコミュニティへの移転に関する組織面における改善がある 4. 発掘、創造された知識・技術パッケージのうち、対象地域において採用されたものの数 5. AICADが発掘、創造した知識・技術を採用している人の数	1. 知識・技術の創造、翻訳（加工）及び移転に関するAICAD各種資料 2. AICAD資料；会議議事録、合意書など 3. AICAD年次報告、内部資料 4. モニタリング・評価に関するAICAD資料 上記4.に同じ	各国における政治的、治安的な安定が継続する
成果 1. 貧困削減に資する知識・技術パッケージが発掘され、創造される 2. 3カ国内における知識・技術の発掘-創造-移転のためのパートナーシップが強化される 3. 発掘-創造-移転のための協力が、3カ国以外の地域においても強化される 4. 発掘-創造された知識・技術が、適切な普及・啓発パッケージへと転換される 5. 適切な知識・技術が普及機関やコミュニティへと移転される 6. 3カ国の機関やコミュニティとのネットワーク、リソースシェアが確立する 7. AICADの次期フェーズでの対象国が選定され、新規加入に係る準備が実施される	1-1 新たに発掘、創造された知識・技術パッケージの数 1-2 明らかになった既存知識・技術パッケージの数 2-1 現参加3カ国内における関係機関との協力合意の数と形式 2-2 MOUs、R/D、レジスレーションなど既存の協力の数と形式 3-1 現参加3カ国以外の関係機関との協力合意の数と形式 3-2 現参加3カ国以外の既存の協力機関との間で導入された協力の数と形式 3-3 協力プログラムの数 3-4 協力プログラムへの参加機関の数 4-1 適切な普及・啓発パッケージに翻訳（加工）された知識・技術の数 5-1 研修を受けた普及機関の数 5-2 研修を受けたコミュニティの数 6-1 他関係機関とのデータベース共有システムが物理的に確立する 6-2 他機関と共有している資源の数とタイプ 6-3 データベースに蓄積されている情報の量 6-4 データベースへの外部機関からのアクセス数 7-1 AICADへの参加基準を満たす加盟国候補の数と名前	1. 1. 1. 研究活動に関するAICAD報告書reports on activities of the cycle of research projects, 1. 2. 1. AICAD各種報告書（支援対象案件の選定、モニタリング・評価、実用化、所有権関連など） 2. 1. 1. 広報に関するAICAD資料 上記2. 1. 1に同じ 上記2. 1. 1に同じ 上記2. 1. 1に同じ 上記2. 1. 1に同じ 4. 1. 1. "Research Output Report"に記載のAICAD活動データ, 4. 1. 2. "Research Output Report from the Network"に記載のデータ, 4. 1. 3. AICADが開発した実用化／普及プログラム（T&E, IN&D） 5. 1. 1. AICAD活動に関する資料 上記5. 1. 1. に同じ 6. 1. 1. AICAD広報室を通じてのネットワークに関する資料 上記6. 1. 1に同じ 上記6. 1. 1に同じ 上記6. 1. 1に同じ	各国における政治的、治安的な安定が継続する

<p>8. 組織、効果的な方針、人的資源管理、ガバナンス、資源管理、モニタリング・評価にかかる各仕組みが整備される</p>	<p>8-1 組織図、方針、人員管理システム、ガバナンス、資源管理、モニタリング・評価に関する文書の存在と改善</p>	<p>8.1.1. 経営に関するAICAD資料</p>	
<p>活動</p> <p>1.1 知識・技術情報を有するAICADリソースセンターを設立する</p> <p>1.2 研究開発支援のための運営システム（審査基準、TOR、モニタリング・評価システムの整備を含む）を確立する</p> <p>1.3 対象とする知識・技術パッケージと既存の知識・技術パッケージ、さらに両者の間のギャップを明確にする</p> <p>1.4 研究活動の実施・促進</p> <p>1.5 研究活動のモニタリング・評価</p> <p>2.1 意識向上のための情報パッケージを作成し、意識向上のための会議を開催する</p> <p>2.2 新しい参加機関との協力合意する</p> <p>2.3 既存のパートナー機関とMOUを締結する</p> <p>3.1 他地域における協力機関候補を発掘する</p> <p>3.2 他機関との協力プログラムを作成、計画し実施する</p> <p>4.1 発掘・作成された知識・技術パッケージを、普及・啓発パッケージへと転換する</p> <p>4.2 すべての普及・啓発パッケージをAICADデータバンクに入力・蓄積する</p> <p>4.3 普及・啓発パッケージを、実際の普及・啓発結果に基づいて見直し・修正する</p> <p>5.1 AICAD普及・啓発パッケージを活用・移転する普及機関を選定し、研修する</p> <p>5.2 上記普及機関の活動をモニターし、評価する</p> <p>5.3 対象コミュニティにおける貧困削減効果を測定する</p> <p>6.1 関係機関やコミュニティとの間に包括的な情報共有システムを整備する</p> <p>6.2 毎年転換・移転される知識・技術パッケージについて、AICADの知名度を高めるための活動を促進する</p> <p>7.1 AICADの次期フェーズに参加可能性のある国を発掘する</p> <p>7.2 新規参加予定国政府との交渉を行う</p> <p>8.1 組織構成及びスタッフ雇用計画を作成、実施及び改定する</p> <p>8.2 人材に関する効果的な方針を設定する</p> <p>8.3 適切なガバナンスの仕組みを設計し、承認を得、実施する</p> <p>8.4 政府及びドナー諸国に対し、資金的支援獲得のための効果的なロビー活動を実施する</p> <p>8.5 自主財源活動（IGA）経営計画を作成・実施する</p> <p>8.6 モニタリング・評価システムを構築し、実施する</p>	<p>投入</p> <p>日本側</p> <p>1. 長期専門家 チーフアドバイザー、業務調整員、人材育成、農村開発計画、情報技術・広報など</p> <p>2. 短期専門家 農学、社会科学など</p> <p>3. 研修員受入れ 本邦研修、第三国研修</p> <p>4. 地域研修、国内研修、第三国研修の実施（研修計画に基づき実施）</p> <p>5. 機材供与 研修実施など必要が生じた際に適宜供与する</p> <p>東アフリカ側</p> <p>1. 要員配置/AICADスタッフ： AICAD本部建物利用を始めるに際して、少なくとも15名のスタッフを配置し、プロジェクト期間中に52名を配置する（<u>要変更・保留</u>）</p> <p>2. 施設・設備 研修用施設、研修員用宿舎、日本人専門家執務室、研修機材、文房具・事務用品など消耗品</p> <p>3. ローカルコスト AICADスタッフの報酬、ユーティリティーコストなど研修施設及び宿舎の維持管理費</p>		<p>前提条件 3対象国において、貧困削減が高い優先順位を付されている</p>

4. 当初PDMとPDM改訂版との対比表

当初PDM		両者の関係		PDM改訂版	
スーパーゴール	<p>【英語】 Poverty in Africa is reduced, thus progressing social and economic development.</p> <p>【日本語】 アフリカの貧困が削減され、経済・社会開発が進展する。</p>	戦略計画に同程度の長期的展望を示す記述がないため、設定しない。	(設定なし)		
上位目標	<p>【英語】 Poverty reduction measures are enhanced through nurturing human resources.</p> <p>【日本語】 貧困削減への取り組みが、育成された人材により進展する。</p>	方向性、内容は同一。プロジェクト終了後5～10年という対象期間を同じくする戦略計画の「ビジョン」を採用。	<p>【英語】 To be the leading African institution in building human capacity for poverty reduction.</p> <p>【日本語】 貧困削減に資する人材育成分野において、アフリカにおける指導的機関となる。</p>		
プロジェクト目標	<p>【英語】 AICAD organization and operation are established as a joint project amongst the three East African countries, through which human resources are nurtured in Africa for the reduction of poverty.</p> <p>【日本語】 東アフリカ3国の共同プロジェクトとしてのAICADの組織・事業が確立し、貧困削減に資するアフリカの人材育成が図られる。</p>	プロジェクト開始から5年程度での達成目標である、戦略計画「ミッション」を採用。方向性は同一であるが、深度は当初案が深く、期間中の達成は困難。	<p>【英語】 AICAD will establish structural and functional modalities for effective linkage between knowledge/technology and application.</p> <p>【日本語】 AICADが、知識・技術とその実用の間を効果的につなぐための構造的、機能的な仕組みを確立する。</p>		
成果1	<p>【英語】 Training activities for poverty reduction are established.</p> <p>【日本語】 貧困削減のための研修事業が確立する。</p>	当初PDMでは、3事業部門ごとの事業確立を成果として挙げている。一方、改訂版PDMでは、3事業部門の連携による事業実施の結果を挙げた。	<p>【英語】 Knowledge and Technology packages for poverty reduction are identified and generated.</p> <p>【日本語】 貧困削減に資する知識・技術パッケージが発掘され、創造される。</p>		
成果2	<p>【英語】 AICAD Research and Development (R&D) activities for the universities are established.</p> <p>【日本語】 大学の研究者等による貧困削減のための研究開発支援事業が確立する。</p>	したがって、改訂版の方がより詳細になっていないものの、本質的な変更はない。なお、改訂版PDMの表現は基本的に戦略計画の主要成果分野及び戦略目標による。	<p>【英語】 Partnerships for identification, generation and transfer of knowledge and technology within countries strengthened.</p> <p>【日本語】 3カ国内における知識・技術の発掘・創造・移転のためのパートナーシップが強化される。</p>		

<p>成果 3</p>	<p>【英語】 Through the accumulation and dissemination of information, network for poverty reduction is built. 【日本語】 貧困削減のための情報ネットワークが整備される。</p>		<p>【英語】 Cooperation with other regions for identification generation and transfer enhanced. 【日本語】 発掘-創造-移転のための協力が、3カ国以外の地域においても強化される。</p>
<p>成果 4</p>	<p>【英語】 Planning and coordinating capacities of AICAD are improved. 【日本語】 AICADの企画・調整能力が向上する。</p>		<p>【英語】 Identified and generated knowledge and technology translated into appropriate dissemination/extension packages. 【日本語】 発掘-創造された知識・技術が、適切な普及・啓発パッケージへと翻訳（加工）される。</p>
<p>成果 5</p>	<p>(設定なし)</p>		<p>【英語】 Appropriate knowledge and technology transferred to extension organizations and communities. 【日本語】 適切な知識・技術が普及機関やコミュニティへと移転される。</p>
<p>成果 6</p>	<p>(設定なし)</p>		<p>【英語】 Networks and Resource sharing with institutions and communities in participating countries established. 【日本語】 3カ国の機関やコミュニティとのネットワーク、リソースシェアが確立する。</p>
<p>成果 7</p>	<p>(設定なし)</p>		<p>【英語】 Target countries for AICAD phase 3 -- Identified and preparations for joining made. 【日本語】 AICADフェーズ3の対象国が選定され、加盟準備を始める。</p>
<p>成果 8</p>	<p>(設定なし)</p>		<p>【英語】 Organizational structure and effective policies, HR systems and management, Governance, Resource mobilization and Monitoring & Evaluation systems are in place. 【日本語】 組織、効果的な方針、人的資源管理、ガバナンス、資源管理、モニタリング・評価に係る各仕組みが整備される。</p>

プロジェクト名: アフリカ人造り拠点プロジェクト フェーズ2

分野	課題	指標/確認事項	情報源	達成度
活動	1. 貧困削減のための研修事業が確立する。	<ul style="list-style-type: none"> 各国PRSP、国家開発計画等との整合性 関係機関の認識・ニーズ 	各国PRSP、国家開発計画等、プロジェクト事業進捗報告書、モニタリング記録、質問票、インタビュー	<ul style="list-style-type: none"> 各国別新規研修を立ち上げるため、新規テーマ策定ステークホルダー会議を開催した。ウガンダでは高い優先順位が付された2テーマ(起業家育成、生産性向上)についてのニーズ調査を実施した。タンザニアでは掲げられたテーマについて、カントリー・オフィス(以下CO)を中心に更なる絞り込みを行っていく。ケニアではLand resource management及び廃棄物処理の研修コース立ち上げの可能性を検討していく。
	1-1 ニーズに基づいた研修テーマを策定する。	<ul style="list-style-type: none"> 各国PRSP、国家開発計画等との整合性 関係機関の認識・ニーズ 	プロジェクト事業進捗報告書、モニタリング記録、質問票、インタビュー	<ul style="list-style-type: none"> 水資源灌漑コースを3年間(域内研修3回、国内研修3回×3カ国)を実施した。ウガンダでは国内にノウハウが蓄積されつつあることから、対象地域の拡大を目指し開催回数の増加(年1回から年2回へ)を積極的に検討する意向である。今後、一層の改善に向け見直しを行っていく。 参加者のニーズに適合し、かつ理解される方法での研修を実施していくため、研修普及部門とCos及び講師との連携強化が必要である。 草の根で活動している農民やコミュニティのグループに対して、小規模案件のプロジェクト提案書作成に関する研修を行う予定である。
	1-2 普及員やNGOを対象とした貧困削減に関連する研修を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 研修実施状況 研修参加者の認識・評価 	プロジェクト事業進捗報告書、モニタリング記録、質問票、インタビュー	<ul style="list-style-type: none"> ウガンダで新規研修カリキュラム開発ワークショップを実施した。関係者のリソースパースンを招き、具体的な研修モジュールやカリキュラムの検討をはじめ、起業家育成、生産性向上の2コースの研修カリキュラムを作成した。また、講師陣を対象としたファシリテーター・トレーニンングを開催していく。 ケニアでは水資源管理灌漑コース・国内研修につき、研修評価結果に基づいて時間割(フェードアウトリッツやアクシオンプラン作成など実習にかかる時間の配分など)、研修期間、講義内容において改善が検討されている。
	1-3 効果的な研修を実施するためのカリキュラムや教材を開発する。	<ul style="list-style-type: none"> カリキュラムの開発状況 教材の開発状況 カリキュラム、教材に対する研修講師の使い勝手(認識) 	プロジェクト事業進捗報告書、モニタリング記録、開発されたカリキュラム及び教材、質問票、インタビュー	<ul style="list-style-type: none"> 水資源開発コースモニタリングを3カ国で実施した。域内・国内両レベルにおいて研修員のインタビュを行い、ケニア、ウガンダについてはモニタリング活動報告が提出されており、第2回モニタリングを2005年2月に以降に実施予定である。タンザニアについては第1回モニタリングを一部実施済みである。 ケニアでは、水資源管理灌漑コース・国内研修について、毎回、研修参加者から評価を得ているほか、CO及びプリンシパル・トレーナーからの研修評価を得ている。
	1-4 研修受講者の研修後の活動を追跡調査し、フィードバックデータを蓄積する。	<ul style="list-style-type: none"> 追跡調査の実施状況 調査結果の整理とデータの蓄積状況 	プロジェクト事業進捗報告書、モニタリング記録、質問票、インタビュー	(This cell content is merged with the previous row's '達成度' column in the original image, so it is not explicitly repeated here for this row's structure.)

	<p>1-5 ワークショップを開催し、研修から得られた成果を普及する。</p>	<p>・ワークショップの実施状況 ・研修成果の実際への適用状況(事例など)</p>	(同上)	<ul style="list-style-type: none"> - ウガンダ、ケニアで、水資源開発コースグラスルーツ研修を実施した。同研修は、域内・国内研修を踏まえ、研修参加者が中心となって農民への活動普及を行うためのトレーニングである。ウガンダでは2004年度2地域(1地域は既に実施)、2005年度3地域で実施予定であり、ケニアについては2004年度1地域、2005年度2地域を予定している。 - ウガンダにおいては、AICADの研修を通じて取得した知識や技術を踏まえ、研修受講者が自ら行った農業技術改善活動の経験及び情報を、地域の周辺農家と共有することを目的としてワークショップが開催され、参加農民は60名であった。 - ケニアにおいては、Ruiru県の普及員が中心となって、研修で得た知識や技術を応用した野菜の栽培指導を行っており、参加農民は20名であった。この研修参加者に対しては、約12カ月間にわたりフォローアップ研修や訪問指導などのプログラムを行う予定である。 - タンザニアについては本研修に対する関心が示されているが、プロボローザルなど具体的なフィードバックはない。 - 本研修は普及支援を目的とすることから、関係者の自発性、主体性、活動の持続性を考慮し、コスト負担や経費の面で工夫をしている。
	<p>1-6 セミナーを開催し、関係者間で知見を共有し連携を強化する。</p>	<p>・セミナー開催状況 ・参加者の認識 ・関係者による新規共同企画など</p>	(同上)	<ul style="list-style-type: none"> - 水資源開発コースグラスルーツ研修について、ケニアとウガンダで相互にリソースベースを派遣し、研修運営、指導法等について相互に学びあう機会を提供した。 - 国連地域開発センター (UNCIRD) と共催している地域開発計画研修の間評価を実施する。 - 他機関との連携をより一層積極的に実施していく。
<p>2. 大学の研究者等による貧困削減のための研究開発支援事業が確立する。</p>				
	<p>2-1 貧困削減に関するニーズと人的資源の調査・研究を行う。</p>	<p>・調査・研究の進捗・結果 ・調査・研究結果の整理・蓄積状況</p>	<p>プロジェクト事業進捗報告書、モニタリング記録、調査報告書・論文、質問票、インタビュー</p>	<ul style="list-style-type: none"> - 3カ国のPRSP研究に基づくニーズ把握調査を実施し、“Examination of the Needs - through the study of PRSP for Kenya, Uganda and Tanzania”を2003年1月に発刊した。
	<p>2-2 貧困削減に寄与する実用的な適正技術の研究開発テーマを選定する。</p>	<p>・テーマ選定状況 ・上記テーマの、貧困削減への貢献度及び実用性に対する関係者の認識・期待</p>	(同上)	<ul style="list-style-type: none"> - パイロットコールド10案件、セカンドコールド23件、サードコールド40案件を採択した。パイロットコールド10件のうち3件は、2004年度第3フェーズを、6件は今年度から第2フェーズを実施予定である。また、セカンドコールド23件のうち19件は、2004年度から第2フェーズとして実施予定である。 - フォアコースコールドのプロボローザルを公募し、選定過程を開始した。

				<p>- アプリケーションガイドラインの微修正、申請書類の修正を行った。研究プログラマー審査・選考ガイドライン及びシートを作成し、シートの改定を行った。審査の過程で対象グループの選定や対象地域、研究の方向性などから各研究の貧困削減への貢献度や実用性が検討されるつくりと なっている。</p> <p>- フォースコールにおいては、従来のテーマ選定方式に加えて、AICAD主導テーマに基づく研究テーマの公募、モデル地域指定の研究テーマの公募などを実施予定である。このため、AICAD主導研究モダリティー(案)を作成した。</p> <p>- 研究プロジェクトの継続審査基準の整備が課題である。</p>
<p>2-3 選定された研究開発を支援し、モニタリングする。</p>	<p>・研究開発のモニタリング状況</p> <p>・モニタリング体制・人員配置等組織面の整備状況</p>	<p>プロジェクト事業進捗報告書、モニタリング記録、質問票、インタビュー</p>	<p>- 研究案件のモニタリングは、パイロットコール及びセカンドコール研究案件について最終評価を行い、評価レポートを作成中である。サードコール研究案件については順次実施する予定であり、2004年12月に第1フェーズの研究成果発表会を開催予定である。</p> <p>- 研究成果発表会はこれまでに2回(パイロットコール及びセカンドコール)開催しており、発表会の議事録はAICAD Research Abstract (Vol. 1, Vol. 2)として取りまとめられている。</p> <p>- 研究評価ガイドラインを作成し、評価の方法や過程、位置づけなどを明らかにした。</p>	
<p>2-4 貧困対策に有用な既存研究を見直し再活用する。</p>	<p>・既存研究見直し作業の進捗</p> <p>・再活用に適した研究の発見状況</p> <p>・上記研究の再活用(または再活用準備)状況</p>	<p>(同上)</p>	<p>- 既存研究見直しは、その基礎となるデータベースが整備されていないことにより進んでいない。ただし、助成対象研究を通じて情報が一部集まりつつある。</p> <p>- パイロットコール研究案件の中には、既に普及の段階につなげられる可能性が高い案件がいくつか出てきている。例えば、ミルクの加工・保存の研究からは、適切な搾乳の方法や容器の選択方法など衛生管理面で活用が期待できる情報を得ており、モニタリングシンポジウムの開催、現地関係者、NGOs、普及員などとともに利用方法を検討するフィールドトリップなどを通じて今後の実施と普及を計画中である(対象地域は、タンザニアのモロゴロ、ドドマ、及びケニアのエルドレ)。また、ハーブを利用したパイオ農業案件については依然研究が必要な段階ではあるが、実用化の可能性が高く期待できる。低価格建材案件についても普及段階にはなく、商業化を図る必要もあることから実用化には今少し時間がかかると思われる。水質浄化案件については既存研究もあり、これまでのところ大きな成果は出ていない。</p> <p>- セカンドコールについては、十分な検証がなされていないことから、実用化にはまだ時間が必要である。</p>	

2-5 貧困削減に有用な適正技術データを蓄積する。	・該当する技術データのスクリーニング状況 ・上記適正技術データの蓄積状況	(同上)	<ul style="list-style-type: none"> - “AICAD Research Mini-reviews” (Vol. 1, Vol. 2, Vol. 3) を発行した。Vol. 2 にはパイロットコントロール研究の全案件とセカンドコントロール研究案件の一部、Vol. 3 にはサードコントロール研究案件が掲載されている。 - 研究案件審査ガイドラインと応募書類を改定した。 - パイロットコントロール、セカンドコントロールの研究を継続実施しており、研究成果普及シンポジウムを実施した。同シンポジウムでは、パイロット事業の研究成果の普及に向けてその手法やあり方について、研究者や普及員、受益者等の代表を招いて検討し、研究成果を基にした普及計画の発表と検討、修正を行った。2 研究案件については、今後研究現場へのフィールドトリップを実施し、普及プロポーザルを作成予定である。
2-6 上記研究開発に関する結果を統合し、コミュニティで実践できる技術を開発する。	・該当する技術の開発状況	(同上)	<ul style="list-style-type: none"> - 研修受講者のリストは整備されている。 - モニタリング報告書及び研修後評価（受講者によるもの）を通じてフィールドバックを得ている。フィールドバックに基づいて研修の見直しを行っている。 - 新規企画など本格的なネットワークづくりには予算化が必要である。現在は、新たなネットワークづくりを目指すのではなく、Irrigation Scheme など既存のネットワークから複数名の参加を募り、研修後には既存のネットワークを活用して活動が行えるよう配慮している。
3. 貧困削減のための情報ネットワークが整備される。			
3-1 研修受講者のネットワークを形成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・研修受講者のリスト ・研修受講者からのフィールドバック・情報交換の状況 ・研修受講者複数による新規企画など 	プロジェクト事業進捗報告書、モニタリング記録、質問票、インタビュー	<ul style="list-style-type: none"> - 研修受講者のリストは整備されている。 - モニタリング報告書及び研修後評価（受講者によるもの）を通じてフィールドバックを得ている。フィールドバックに基づいて研修の見直しを行っている。 - 新規企画など本格的なネットワークづくりには予算化が必要である。現在は、新たなネットワークづくりを目指すのではなく、Irrigation Scheme など既存のネットワークから複数名の参加を募り、研修後には既存のネットワークを活用して活動が行えるよう配慮している。
3-2 研究者のネットワークを形成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・関係研究者のリスト ・研究者による新規共同研究の事例 	(同上)	<ul style="list-style-type: none"> - 関係分野の研究者のリストは整備されている。 - AICADを通じて知り合った研究者による新規共同企画については、これまでのところないが、AICADが研究者の意見交換の場として機能している。
3-3 協力関係機関のネットワークを形成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関のリスト ・上記にリストアップされている機関とAICADによる共同企画・研究等の事例など 	(同上)	<ul style="list-style-type: none"> - これまでに、3カ国の関係省庁、国立大学（15大学）、研究機関（NARC、NARO、TIRDOなど）、地域国際機関（ILRI、ICRAF、ICRPF、ICIPEなど）、国連機関（UNEP、UNCRDなど）、3カ国のJICA関係プロジェクト実施機関及びいくつかの日本の大学とのあいだにネットワークを形成している。 - ICRAF、ICCAEとはMOUを締結し、協力の基盤ができた。またILRI、ICIPE、NEPADとはMOU署名を待っている段階である。IRRI、CYMITとはMOUを結んでいないが、連携の機会を探っている。名古屋大学農学国際教育協力センター（ICCAE）とはMOUを結び、AICAD主導研究での共同研究を予定している。 - NEPADやWAITROなど関係機関、またタイ、マレーシアなどアジア諸国、東アフリカ諸国及び日本から多くの訪問を受けている。 - NGO、CBO企業など民間セクターとの連携、また政府機関のなかでも事業実施官庁や地方政府との連携強化が必要である。

	<p>3-4 蓄積された貧困削減に関するデータベースが共有される基盤を構築する。</p>	<p>・データベース共有のためのハード整備状況 ・上記データベースの、関係者・機関への広報・普及の状況</p>	(同上)	<p>- AICAD独自の情報データベースを整備中である。情報データベース構築のための検討委員会を立ち上げ、第1回の検討会を行った。また、データベースアドミニストレーターの雇用が検討されている。 - AICAD内部のネットワークが構築されたが、外部とのネットワークに至っていない。情報インフラ整備状況を調査中である。</p>
<p>3-5 貧困削減に有用な情報提供を継続する。</p>	<p>・AICADからの情報提供方法・整備の状況 ・各方法による情報提供の頻度及び範囲 ・提供情報に対する関係者・機関の評価・期待など</p>	(同上)	<p>- AICADのホームページを開設し、デザイン上の改善を行った。内容面では各種活動の現状が掲載されている。しかし、成果・実績の内容が少ないため、今後の対応が必要である。作成・運用面では、更新内容の基準、更新頻度、更新体制などについて制度化を図ることが必要である。日本語版については内容更新の頻度が低いため、管理・作成者などを確認していくとともに、内容の一層の充実を図る。 - 2003年10月～12月に3カ国の参加大学を主な対象として、AICAD情報収集・発信機能についてのニーズ調査を実施した。同結果に基づき情報整備基本計画を策定し、その実施に向けて活動中である。 - 図書館については、書籍及び備品等の購入・登録を行ったほか、司書を雇用した。今後も図書の充実を図るほか、図書館機能のあり方など今後情報資源管理の内容についての方針を決定する必要がある。 - 出版物については、研究助成事業の成果は“AICAD Mini-review”として、これまでにVol. 3まで発行・配布されている。研修事業の成果については、研修報告書として、これまでに6件が発行・配布されている。このほか、“AICAD News”（第10号まで）“AICAD Annual Report” “AICAD Review”（Vol. 3まで）“Examination of the Needs”を発行・配布している。“AICAD News”は2,000部（Vol. 9は4,000部）印刷し、参加大学、関係省庁、地方政府機関、関係機関、関連JICAプロジェクト、日本の関係大学などに広く配布している。 - 今後は出版物とあわせて、配布先のリスト作成及び管理の一本化を図る予定である。あわせて広報戦略の検討、編集計画の作成が必要である。</p>	
<p>4. AICADの企画・調整能力が向上する。</p>				
<p>4-1 AICADでの活動を通じたスタッフの訓練を実施する。</p>	<p>・スタッフ訓練の実施状況 ・訓練を受けたスタッフの能力向上の状況</p>	<p>プロジェクト事業進捗報告書、モニタリング記録、質問票、インタビュー</p>	<p>- 新規スタッフ対象のオリエンテーションが実施されている(ILRI, ICRAF, ICIP, UNEPなど関係機関訪問を含む)ほか、他スタッフについては主に本邦研修への参加と日常業務への共同での取り組みを通じて、スタッフ訓練とされている。また、セミナーや就労後の研修コースへの参加を支援している。 - 2004年度第4四半期には、ビジネスコミュニケーションのデクニクニックについてのセミナーを開催する予定である。 - AICADスタッフの企画・調整能力は、プロジェクト前半期間を通じて向上を見ているが、後半期間において更なる向上が期待される。</p>	

	4-2 AICADの運営規定を整備・改善する。	・運営規程の整備・改善状況	プロジェクト事業進捗報告書、モニタリング記録、運営規程、質問票、インタビュー	<ul style="list-style-type: none"> - Headquarter Agreement及びAICAD憲章を策定した。AICAD憲章は2003年10-11月に3カ国教育省PSの署名を得て、地域国際機関となった。 - 理念に基づいた事業運営システム、職場環境の充実、スタッフのモチベーションを高める制度づくりを行っている。AICAD組織図は、添付資料8のとおりである。 - また、各種ガイドライン（予算作成・調整、インターンシップ受入れ、調達・財務、CO支援、内部コミュニケーション等）の検討・作成を行い、システムの簡素化、情報管理の集中化、伝達経路の明確化・共有化を図っている。 - 会計について月例会議で報告するようになり、用途がフォローできるようになってきている。今後も報告の定期的作成と報告の実施を強化していく。 - 機材の維持管理費の積算、外注委託、収入口座からの予算確保、日々管理すべき機材の確認を行い、年間の維持管理費用を積算した。 - 施設整備項目の優先順位をつけ、優先度に従って施設改善・供与機材の調達を行った。 - 2005-2009年を対象期間とした戦略計画を作成し、JWCで承認された。 - 研究継続審査に関する承認手続き及び審査基準を作成した。2005年度から運用に移る予定である。 - 研修モニタリングにつき手法、内容等についての簡略化・統一化を図るとともに、効果的な実施体制の確立を検討する予定である。 - AICAD施設に、ゲストハウスの充実が進んでおり、稼働率の向上を見ている。 - 大学への供与機材使用ガイドラインを作成したが、引き続き見直しが必要である。
成果1 貧困削減のための研修事業が確立する。	<p>指標</p> <p>①研修事業の運営システムが確立される。</p> <p>②研修内容の有効性（参加者による評価、実際の適用事例及びその結果など）。</p>	<p>指標入手手段</p> <p>AICAD活動実績</p> <p>(同上)</p>	<p>達成度</p> <p>- AICAD独自の研修立ち上げシステムは確立している。テーマの決定からカリキュラム作りのプロセスまでを実施できるようになった。また、予算の見積りから申請、講師の手配、実施に至るプロセスについても、ウガンダ、ケニアにおいては問題なく実施できるようになった。一部外注している部分については、現在システムの確立に向け進捗している。</p> <p>- C/PSは事業化、各国の研修管理などのプロセスを明確に認識している。</p> <p>- テーマ選定においてニーズのあるものを選定していることから、ある程度の有効性は確保されていると思われる。研修受講者の反応からも、次の展開を期待していることが伺われる。</p> <p>- ただし、講師の側が農民のニーズを把握しきれず、農民に理解される形での研修実施が難しい場合も見られることから、グラスルーツトレーニングやフィリタリーター研修を実施することにより、改善を図っている。</p>	

	<p>③貧困削減に資する研修実施回数。(同上)</p>	<p>(同上)</p>	<p>- 水資源管理コースでは、RTCを計5回実施している(フアシリテーター・トレーニンング、モニタリングを含む)。受講者は農業、水資源関係の役人のほか研究所やNGOsである。ICTは毎年各国1回ずつ計6回開催されており、主に大学関係者や研究所関係者の参加を得ている。受講者数は、428名である。</p> <p>- UNCRDとの協力による地域開発計画コースは、年1回のペースでこれまでに2回実施されており、受講者数は計47名(うち7名は自費参加)である。</p> <p>- ケニア、ウガンダではステークホルダー会議が実施され、新コース開設に向けての検討が行われている。タンザニアにおいても一部終了しているが、残りについても継続して実施していく。</p> <p>- このほか、ネリカ米セミナー(6回)、農民トレーニンング(3回)を実施している。</p> <p>- 正確な回数は把握されていないが、ケニアの普及員による野菜作り指導をはじめ、いくつものコースが見られる。</p>
	<p>④研修後、受講者が貧困削減活動へ参加した回数。(同上)</p>	<p>(同上)</p>	<p>総合評価</p> <p>- 研修受講者を通じて、またグラスルーツ研修を通じて研修成果のコミュニケーションは依然十分とはいえない。</p> <p>- コミュニティのニーズ調査をさらに実施することが必要である。</p>
<p>成果2 大学の研究者等による貧困削減のための研究開発支援事業が確立する。</p>	<p>指 標</p> <p>①研究開発支援事業の運営システムが確立される。</p>	<p>指標入手手段</p> <p>AICAD活動実績</p>	<p>達成度</p> <p>- 研究開発支援事業の運営システムは、ほぼ確立している。募集-選定-モニタリング-評価のプロセスがガイドライン化されており、同ガイドラインは間もなく適用される予定である。</p> <p>- 今後は、研究成果の普及プロセスの確立を予定している。これまでもシンポジウムの実施、ある程度の構想の共有などを進めているが、それらがルーティン化するまでには至っていない。</p> <p>- 研究の継続審査プロセスについては、今回JWCに提案を行いICCに送られており、2005年から実務に入る予定である。</p>
	<p>②支援研究内容の有効性(各研究開発事業に対する学識評価、実際の適用事例及びその結果など)。</p>	<p>(同上)</p>	<p>- パイロットコントロール及びセカンドコントロールの研究案件については、順次モニタリング・評価を実施している。モニタリング・評価は大変詳細かつ真摯に行われており、評価に値する。同モニタリング・評価結果によると、既に研修・普及に期待できる案件が数件見出されているほか、様々な専門性をもつ研究者が貧困削減というひとつの目標に向かって議論・検討をする機会、またAICADの目的や方向性について理解を深める機会となっており、参加研究者の研究スタイルに影響を及ぼしていると思われる。</p> <p>- 実際の適用事例及びその結果については、上記活動2-4のとおりである。</p> <p>- 研究助成対象は、現在大学関係者に多くが割かれているが、今後はNGOs、CBOsなどへも対象を広げていく必要がある。</p>
	<p>③貧困削減に資する研究開発支援実施量。</p>	<p>(同上)</p>	<p>- 研究開発支援対象として、パイロットコントロール10件、セカンドコントロール23件、サードコントロール40件の計73件を支援している。フォースコントロールについては、現在研究プログラムの公募及び予備選考プロセスにあるが、従来の方式に加えて、AICAD主導テーマによる研究や地域を限定した研究テーマの募集など、新たな取り組みを行う予定である。</p>

	④実施中及び実施後の研究者とコミュニティとの連携量。	(同上)	<ul style="list-style-type: none"> - 実施中のものについては、全研究案件がコミュニティと連携していることから、コミュニティとの協力件数は研究案件数（73件）と同じである。 - 実施後については、これまでのところ終了した研究案件がないことから、今後の動静を見ていく必要がある。
<p>総合評価</p> <ul style="list-style-type: none"> - 研究テーマの選定、モニタリング及び評価につき、それぞれ方法がほぼ確立されている。また、“Community Empowerment and Network Project”の計画など普及計画を策定していることは評価に値する。 - したがって、今後の課題はこうした計画を適切な時期に遅滞なく実施に移すことである。 - また、研究方法やモニタリングのための現地視察などにつき、より詳細な助言を研究者に対して行っていくことが必要である。 	<p>指標</p> <p>①情報ネットワークの運営システムが確立される。</p> <p>②人的資源の情報量。</p> <p>③知的資源（ニーズ、有用な知見）の情報量。</p> <p>④蓄積された情報へのアクセス量と発信量。</p>	<p>指標入手手段</p> <p>AICAD活動実績</p> <p>(同上)</p> <p>(同上)</p> <p>(同上)</p>	<p>達成度</p> <ul style="list-style-type: none"> - AICAD内部の情報ネットワークは構築されたが、外部ネットワークはまだまだであり、また運営に関するガイドラインは作成されていない。今後、運営システムの確立が必要である。 - 大学研究者、政府関係機関及びNGOsのリストは収集してあるが、依然必要最小限の域を出ていない。一層の情報収集と蓄積が必要である。 - 図書館を整備することにより、情報の蓄積が開始されたところである。戦略計画において受益者がコミュニティと仲介者に絞り込まれたことにより、必要な知的資源の種類が明確になったので、今後充実していく。 - データベースが構築されておらず、情報が蓄積されていないことからアクセスはない。 - HPについてはアクセス量の把握ができた環境は整ったが、依然実施されていない。
<p>総合評価</p> <ul style="list-style-type: none"> - 人的及び知的資源に関するデータは、順調に収集されている。データを十分に活用するためには、データベースの構築と同データベースへのデータの蓄積が必要である。 - また、読み手の関心をより反映した内容を盛り込むよう、更なる精査が必要である。 - これまでのところ進捗が遅れが出ているが、プロジェクト後半期間には活動ペースを上げることにより、期間中に完了可能と判断される。 	<p>指標</p> <p>運営体制の比較</p>	<p>指標入手手段</p> <p>AICAD組織体制</p>	<p>達成度</p> <ul style="list-style-type: none"> - プロジェクト開始当初と比べて、施設管理についてのガイドラインが作成されたこと、会計や施設管理がコンピュータ処理できるようになったこと、及び収入口座の管理体制が整いIGAによる資金確保ができるようになったことが大きな進歩である。 - 物資調達についても、見積り、入札などが的確に滞りなく実施できようになった。 - 会計報告は財務マニュアルに即って実施されるようになり、月例報告を行うようになっている。 - AICADゲストハウスの稼働率は、着実に向上している。また、IGAは黒字が出ている。
<p>成果3</p> <p>貧困削減のための情報ネットワークが整備される。</p>			
<p>成果4</p> <p>AICADの企画・調整能力が向上する。</p>			

！情報は、図書館の蔵書など紙ベースのものなども含み、電子化されたもののみではない。また、発信量とは、アクセスした人の意見・コメントの量・件数を意味する。

総合評価			
- 運営体制の確立について、評価に値する進捗を見ているといえる。施設管理及び運営システムは、プロジェクト開始当初に比べて確実に進歩している。			
プロジェクト目標	課題	指標(期待される結果)	情報源
	東アフリカ3国の共同プロジェクトとしてのAICADの組織・事業が確立し、貧困削減に資するアフリカの人材育成が図られる。	①資金と人員の投入量。 ②大学の研究者等の貧困問題への志向性の向上(関与する活動の増大)。 ③研修の受講者や研究開発の普及活動に携わる人数。 ④人的ネットワークを介した貧困削減活動への効果。	・政府統計 ・AICAD事業統計 ・AICAD研修事業モニタリング結果 ・AICAD共同研究事業モニタリング結果及びワークショップ結果
上位目標	貧困削減への取り組みが、育成された人材により進展する。	・育成された人材による研究、研修などを通じた貧困削減活動への貢献度。	・AICAD事業統計
最終上位目標	アフリカの貧困が削減され、経済・社会開発が進展する。	・各国の貧困削減指標の改善。	・PRSP統計
			<p>評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> - 資金、人員の投入量とも依然十分とはいえないが、関係機関による支援体制・姿勢は積極的であり、高く評価される。 - AICAD活動に参加することにより、研究者の研究スタイルに変化が見られる。貧困問題への関与がより積極的になっている。 - 研修受講者数は500名以上になっている。研究開発は普及段階に至っていないが、プロジェクト後半期間には数件の普及が期待できる。 - 戦略計画策定によりAICADの将来像、使命、目標、活動が関係者間の共通認識の下に確定すれば、AICADの目標である人づくり事業のターゲット・内容がより明確になり、関係各国、関係者、事務局の理解・協力も高まるものと期待される。その意味で広報宣伝、情報提供分野でのAICAD事務局の努力が重要となつていく。 - 研修受講者の中には研修で得た知識・技術を実際に適用し、農民の指導を始めるケースが出てきている。また、研究案件の中から数件ではあるが、普及・実用化が期待できるものが出始めている。 - コミュニティレベルにおける貢献度はいまだ小さいものの、今後の進展が期待される。 - 国レベルにおける貧困削減効果が見られる段階には達していない。

² AICAD事業に何らかの形で関わったことのある研究者、地方行政官、普及員、NGOスタッフなどを含む。

5 項目その 他の基準	評価設問		判断基準・方法	結果
	大項目	小項目		
実績の検証	投入は計画どおりか	日本側投入	計画値と比較して大幅な乖離がない、投入の実績による、活動への支障を来していない	<ul style="list-style-type: none"> - 専門家については、これまでに長期専門家計12名（うち7名は現在派遣中）、短期専門家を延べ20名派遣している。付属資料9-1に見るように、数々の面では計画どおりに派遣されている。ただし、長期専門家については、R&D分野で後任の派遣が遅れたこと、及びN&D分野では、プロジェクト開始当初に専門家の専門性とAICAD側のニーズの間にミスマッチがあり、活動の遅れを生じた。 - 本邦研修については、これまでに9名を受け入れている（付属資料9-2）。AICAD側の満足度は高く、活動の進捗に貢献している。 - 機材については、コンピュータやソフトウェア、研究開発事業用機材など総額3,780万円相当が計画どおり供与されている（付属資料9-3）。一部活用頻度の低いものがある。 - 現地業務費については、2003年度、2004年度に計230万7,334.50米ドルを支出した（付属資料9-4）
		AICAD側投入	(同上)	<ul style="list-style-type: none"> - プロジェクトに必要な土地、建物、施設については、AICAD用敷地としてジョモ・ケニヤッタ農工大学の隣接地を提供しているほか、AICAD周辺のフェンス、また無償資金協力により建設されたAICAD施設（研修等・宿泊等）へのカフェテリアの家具及び食器類、レクリエーションセンターのスポーツ器具を投入している。 - 運営経費は、3カ国合計でそれぞれ77万1,143米ドル（02/03年度）、85万9,240米ドル（03/04年度）、105万7,781米ドル（04/05年度）（予算）が支出されている（付属資料9-5）。2004/2005年度は前年実績比23%増となっているが、支出額はAICADの要求額を満たすには至っておらず、スタッフ雇用などに影響が出ている。 - リーショナルスタッフ11名、ローカルスタッフ9名が配置されている（付属資料9-6）。今後も戦略計画に則り、一層の充実を図る予定である。
	アウトプットは計画どおり産出されているか		目標値と比較して、大幅な乖離がない（評価時点までに想定される目標値と比較）	<ul style="list-style-type: none"> - 活動は、初期のC/Ps採用・配置に時間がかかったこと、また依然いくつかのポストは配置されていないことなどにより、全般的に遅れが見られる。しかし、各活動分野ともに活動の基盤ができてきた。 - 機材、施設に起因する活動への影響は出ていない。 - 資金面については、参加国による拠出金が計画どおり拠出されていないことから、主にスタッフ採用に影響が出ており、このため活動への影響が見られる。
	プロジェクト目標達成の見込みはあるか		(同上)	<ul style="list-style-type: none"> - 上記のとおり、計画に比して活動に遅れが見られる。特に、スタッフ雇用と拠出金支出の遅れが懸念される。プロジェクト目標は、これら現在抱える課題が速やかに解決されれば達成されると見込まれる。

実施プロセスの検証	活動は計画どおりに実施されているか	進捗に問題はないか。ある場合、それは何か。	当初スケジュールと比較して大幅な乖離がない	<ul style="list-style-type: none"> - 全体的に遅れが生じている。 - 研究開発では、案件公募スケジュールが当初スケジュールに比較して遅れてはいるものの、選定された各研究案件のほとんどは計画どおり進捗している。中には次年度の継続が認められるものもあり、コミュニティへの適用が期待できるレベルにあるものも出てきている。 - 研修については、AICADが企画・運営しているコースは若干の遅れがあるものの、おおむね順調に進捗している。 - 情報収集・発信については、AICAD独自のデータベースを構築しつつある。当初計画に比べると、ハード面における整備に若干の遅れが生じたことにより全体スケジュールに影響を及ぼしている。図書館については、司書の雇用により整備計画が作成され、必要機材及び本の購入などを進め機能を強化している。
	技術移転の方法に問題はないか	ある場合、どの分野におけるどの技術移転方法に問題があるか。その解決方法(案)。	進捗の大幅な遅れがない、C/Pの理解度・能力が深まっている	<ul style="list-style-type: none"> - C/Psの理解度・能力については、プロジェクト前半期間の活動を通じて確実な進歩が見られる。AICADの果たすべき役割やあり方、目的、またAICADを取り巻く環境、関係機関、関係者の大枠を把握している。 - ただし、活動の進め方についての考え方に、AICAD側と日本側との間に若干の隔たりに見られる。
	プロジェクトのマネジメント体制に問題はないか	モニタリングの仕組みが構築されているか。	各活動にモニタリング担当者が配置されている、モニタリング結果の処理方法が合意され実施されている、関係者による会議が定期的に実施されている	<ul style="list-style-type: none"> - プロジェクト全体に関するモニタリングはこれまで実施していなかったが、戦略計画において体制等が明確化されており、同計画に則って実施を開始する予定である。 - 3カ国において研究活動及び研修活動のモニタリングを開始している。現在はR&D部門担当者及び研究者が実施しているが、将来的には外部有識者やCOsも含め実施していく。 - モニタリングの実施体制、様式、責任の所在などについては、「戦略計画：モニタリング・評価」において定められており、同計画がJCCで承認されれば速やかに実施される予定である。 - JCCは年2回のペースで定期的に実施されている。JCCとJWCの位置づけを含む体制整備については、「戦略計画：統治計画」に記載のとおりであり、同計画のJCCによる承認により実施に移る予定である。
	プロジェクト内のコミュニケーションは、円滑に行われているか。	プロジェクト内のコミュニケーションは、円滑に行われているか。	コミュニケーションに起因する問題が生じていない、活動が順調に進捗している、研究開発事業と研修普及事業が有機的に関連づけられている、政策面及び資金面で政府の支持を得ている	<ul style="list-style-type: none"> - AICADが実施する3事業(研究開発、研修普及、情報収集・発信)は、それぞれ密接に関連しており、事業の効果を高めるためには相互の連携が不可欠である。AICADにはそれぞれの事業を担当する3つの部門が設置されているが、これまでのところ相互の連携が十分でなく、例えば、研究成果の研修普及事業への有効な活用などが円滑に行われていない。 - この点については、3部門の連携を強化するプログラム・ダイレクター職を新たに設けることにより対応していく予定である。 - また、コミュニケーションに関してガイドラインを作成する予定である。

			意思決定は円滑に行われているか。	AICAD事務局内の意思決定が迅速に行われる	- AICAD内部における意思決定は、時に迅速でない場合が見られる。JCC/JWCとAICAD事務局の役割分担が不明瞭であるため、JCC/JWCの承認事項が多くなっていることが原因のひとつと考えられる。 - 特に問題は生じていない。十分な後方支援を得ている。
		JICA本部及び在外事務所との連絡・協力体制は整備されているか。	JICA本部及び在外事務所との連絡・協力体制は整備されているか。	連携・協力不足に起因する活動の遅延等がない	- ウガンダやタンザニアでは、CDOs運営費滞滞により研修事業費が流用されるケースが多く見られ、研修総額に対するマネジメントコスト（臨時雇用スタッフ及び燃料代）が大きくなっている。 - CDOsのスタッフは臨時雇用であるため、ダイレクター不在の際に業務を代行することができず、活動スケジュールに影響を及ぼす場合がある。
		AICAD参加3カ国政府関係省庁及びカウンターオフィス（以下、CDOs）との連絡・協力体制は整備されているか。	AICAD参加3カ国政府関係省庁は、高いオーナーシップをもって取り組んでいるか。	(同上)	- 拠出金措置については、AICAD要請額に対し各国政府の約束額が低いこと、また支払に遅滞が見られることはあるが、約束額は支払われている。本プロジェクトが高等教育案件であること、またタンザニア、ウガンダについてはコモンスケット方式主流の中で本プロジェクト付きの予算を措置していることを考慮すると、各国政府の予算措置における努力は高く評価される。ただし、支出においては遅延が見られ、活動の遅延が生じている。
	実施機関やカウンターパートのプロジェクトに対する認識は高いか		AICAD事務局のオーナーシップ（C/Pの配置状況、外部関係機関との連絡・調整など）。	拠出金措置状況による活動の遅延その他の支障が生じていない、その他必要な支援がタイミングよく行われている	- 関係省庁は、JCC、JWCに参加している。 - AICADスタッフは、プロジェクトの方向性や目的につき共通理解を有し、業務に主体的に取り組み姿勢が見られる。しかし、活動の継続性を維持できる能力を更に強化するためにはCOsの強化やより効果的・効率的な活動の実施など、改善の余地がある。CDOs及びCDOsスタッフの専任化により、改善が可能である。
	適切なカウンターパートが配置されているか		AICAD内部の各部門に必要な人材が配置されているか。	各部門に計画どおりの人数のC/Pが配置されている、C/P配置に起因する活動の遅延その他の支障がない	- プロジェクト開始当初は、適切な人材の採用に時間がかかったが、戦略計画を策定し、同計画の中で、予算の範囲内で現在のスタッフ不足状況の早急な改善に関する計画を示している。情報部門については、依然アシスタントコーディネーターを雇用しておらず、またITについては必要な知識・技術が不足気味である。また、技術面においては現在一部スタッフを外注にしているため、持続可能性に不安が残る。 - フェーズ1からフェーズ2に移行する段階でC/Psはほぼ全面的に変わったが、その際引継ぎがなされておらず、フェーズ2初期においては支障を来した。

	ターゲットグループや関係機関のプロジェクトへの参加度合いやプロジェクトに対する認識は高いか	各活動のターゲットとされている人材・機関が、AICADを有用な機関と認識しているか。	3カ国関係省庁、大学・研究機関、研究者、NGOなどにAICADという機関及び事業内容が認知されている、関係機関等との情報交換や共同企画等の働きかけがある、必要な会議等に出席している	<ul style="list-style-type: none"> - 3カ国関係省庁、参加15大学の認識は高く、総じて協力的である。 - ただし、戦略計画策定の過程で実施した調査でも明らかのように、3カ国の関係機関（研究機関、研究者、NGOなど）に広く認知されているとはいえないのが現状である。同調査を通じて、AICADがどのような事業を実施しているのか、認識が広まった部分はある。また、総じてAICADの理念及び活動内容に賛同する声が多く、AICADに対する期待が見られた。 - これまでもUNCRDとの連携による研修実施を行ってきたほか、南南協力の一環としてタイとの情報交換（研究シンポジウムへの招聘、タイ普及研修センターにおけるAICAD総務スタッフの派遣予定など）を行っている。現在は、このほかさまざまな機関・国との連携・協力に向けて検討を行っているところであり、今後は具体的な連携を通じた活動実績が増えいくことが期待される。 - 特になし。
妥当性	必要	プロジェクトは、対象国の地域・社会のニーズに合致しているか	<ul style="list-style-type: none"> - 対象3カ国は貧困削減に力を入れており、特に農業分野における人材育成と技術向上・普及を必要としている。この点において対象国のニーズに合致しているといえる。 - ターゲットグループ（AICAD）は新しい組織であり、現在組織づくりと活動の実施を同時並行的に実施している。活動は研究開発、研修普及及び情報発信の3分野であり、これら機能の充実と組織体制の充実の両方を支援する本プロジェクトは、ターゲットグループのニーズに合致しているといえる。 - ケニアのPRSPにおける優先分野として「農業農村開発」及び「人材育成」が挙げられている。農業農村開発については、特にコミュニティの活動を効果的に実施する機会づくりが重点課題として挙げられている。 - タンザニアにおける開発上の主要課題6つのうち、ひとつが「人材育成」であり、同国における開発政策との整合性は高いといえる。 - ウガンダは、国家開発計画の中で貧困撲滅政策を掲げており、「貧困撲滅行動計画」を策定している。 - 上記より、本プロジェクトは3カ国の開発政策と整合しているといえる。 	
妥当性	優先度	ケニア、タンザニア、ウガンダの開発政策との整合性はあるか		

	<p>日本の援助政策・JICA国別事業実施計画との整合性はあるか</p>	<p>手段階としての適切性： プロジェクトはAICAD参加国において、貧困削減分野における開発課題に対し、適切かつ効果的な戦略であるか</p>	<p>プロジェクトのアプローチ及び対象地域は、適切な選択か。 近隣地域で実施されているJICAの他のプロジェクトとの協力・連携は、適切に行われているか。その結果、何かしらの効果を上げているか。</p>	<p>AICADアプローチは、他地域にも適用することができる、対象地域のニーズに合っている、当該プロジェクトと活動内容に重複がない、他のプロジェクトと協力あるいは交流している</p>	<p>JICAは近年アフリカ諸国への支援を強化しつつあり、特に、コミュニティレベルにおける貧困からの開放を含む「人間の安全保障」理念に基づき、アフリカ支援が強調されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 本プロジェクト対象3カ国に対する日本の援助政策は、以下のとおりである。 - ケニアについては、5つの重点分野を定めているが、中でも特に社会的弱者に直接裨益する「人材育成」、「農業開発」、特に同分野における研究協力・技術普及に重点が置かれている。 - 対タンザニア支援の5重点分野のひとつとして「農業・零細企業の振興のための支援」が掲げられており、その中で「コミュニティ開発手法の確立」を開発課題として挙げている。本プロジェクトは農村振興策・技術として実際に適用できる研究・技術開発を通じて貧困を削減することである。 - ウガンダについては、「人的資源開発」及び「農業開発」が援助の重点分野（4分野）として掲げられている。 - 上記より、本プロジェクトは日本の援助政策と整合していると判断される。また、いずれの国についても、南南協力、域内協力を積極的に推進しつつ支援を行うこととなっており、この点においても本プロジェクトは日本の政策に合致している。 - AICADは現在ケニア、ウガンダ、タンザニアの東アフリカ3カ国を対象として活動を行っており、2007年7月まではこの3カ国を対象国としていくが、将来的には対象を拡大していく予定である。本プロジェクトは当初よりこの方針に則って開始されており、必ずしも一定の地域のみに限定的な事業展開を想定していない。 - AICADの“それぞれの地域において有用な研究案件を支援し、普及し、適用する”というアプローチは、現在の3カ国に限らず、どの国のどの地域においても適用することが可能である。 - 今後は、現場により近い位置にあるCOsの充実を図っていくことから、アプローチの適切性は向上していくと思われる。 - ナイロビ市街から離れていることから、通信状況や他機関との連携などを考慮すると不利であることは否めない。 - R&Dではノコイネ農業大学のSCSRDプロジェクト関連の研究案件を支援している。また、ネリカ米案件との協力可能性を探っている。 - 既存の国別研修について、JICAのKATC（キリマンジャロ農業技術者訓練センター）プロジェクトとの連携を図っている。 - 3カ国ともJICAからの農業省への個別派遣専門家からの助言、研修コースの共同開発をしている。 - KEMRI、農業省からの専門家推薦・派遣をもらっている。
--	--------------------------------------	---	--	---	--

				<ul style="list-style-type: none"> - 南南協力促進を目的として、タイとの交流を行っている。WSへのタイからの参加やタイへの調査団（第1次及び第2次）の派遣などを通じて、タイの経験を学ぶ機会を計画している。また、JICA本部主導のアジア・アフリカ知識共創セミナーと連動して、今後はタイ政府やマレーシア政府とも協力して、アジア・アフリカ協力ワークショップの準備を行っている。 - エジプトとの第三国研修の共同新規開発を検討中であるほか、JICA本部経済開発部主管の貿易促進に関連してインドネシアの貿易研修センターとの連携を視野に入れた中小企業貿易業者や政府関係者も入れた貿易促進のためのキヤンパシブ・イニシアティブに関する地域研修を行う計画も検討中である。 - UNCRDとは、南南協力を通じて講師派遣を検討している。 - タイ農村女性エンパワーメント第三国セミナーに、AICADから参加しているほか、C/Psはタイカセサート大学やNAETECに派遣している。 - タイから講師を招き女性のエンパワーメントや混合農業に関する研修を協力して実施することが検討されている。 - ICRAP、ICCAEとMOUを締結した。また、ICIPE、ILRI、NEPADとはMOU締結の署名を待っている状況である。 - 実際の連携事例は多くはないが、連携関係ができつつあることから今後の具体化が期待できる。
	他のドナーとの援助協調及び相乗効果が期待できるか。	/		<ul style="list-style-type: none"> - AICADは、貧困削減を目的として新たに創設された組織である。東アフリカ地域には、貧困削減を目的とした機関は他にもあるが、大学のみを対象としNGOsや国際機関との連携が少ないもの、特定分野に絞った活動をしているもの、また政策レベルでの活動をしているものなどであり、貧困削減を包括的に、また大学の枠を超えて広く連携することを目指しており、研修機能を有して草の根レベルの活動を実施している機関はない。この意味において、AICADは特徴を有しており、ターゲットグループとして適切であると判断される。 - ナイロビ市街から離れていることから物理的に若干不利な面があるのは否めないが、ケニアは東アフリカのハブ的な国であり、UNEP、UNDPなど国際機関UNEP、UNDP、研究機関ICRAF、ICIPEなどが集中していることから、拠点としての機能は十分に果たすことが可能である。この意味で、ナイロビに本部を置いたことは妥当であったと考えられる。 - 技術普及については、研修事業としてAICADの事業内容に組み込まれている。研究開発事業についても、選定の段階から、その期待される成果を普及、更にはコミュニティに適用することを念頭においている。 - 規模は東アフリカ3カ国であるが、将来的に拡大する計画である。 - 3カ国教育省PSのAICAD憲署名により、AICADは地域国際機関となった。ただし、配置スタッフ数は十分ではないことから、今後戦略計画に即って適切な増員を図っていく必要がある。
	ターゲットグループの選定は適正か（対象、規模など）	技術的・物理的優位性を有している、技術普及できる仕組み・規模・行政的または法的位置づけを有している、活動実施に過不足のない人数が配置されている		

			普及の仕組みが整備されている、 研修受講者からの評価・関心が高い、 技術が参加各国に普及可能である	<ul style="list-style-type: none"> - 普及の仕組みについては、上述のとおり、AICAD事業に組み込まれている。 - 研修受講者の評価はおおむね高く、またAICADに対する関心は高まっている。 - 本プロジェクトは、現地の研究者が、現地に適用可能、かつ貧困削減に効果が期待できる研究成果・技術を開発するのを支援し、同技術を普及・適用につなげていくことを目的とするものである。したがって、本プロジェクトが扱う技術の国内での普及可能性は高いといえる。また、上記の一連のプロセス（技術発掘～普及～適用）を支援するというアプローチは、現在の3カ国に限らず他の周辺諸国にも等しく適用可能なものであり、かつ将来的には参加国を拡大することも念頭に置いて活動を行っている。
	効果が受益や費用の負担が公平に分配されるか		<p>研修参加資格に偏りがない、 プロジェクト成果の実用に制限が設けられていない</p>	<ul style="list-style-type: none"> - 研修の参加資格は「実際に地域で直接活動をしている」など、比較的緩いものとなっている。実際の参加者選出は相手国の地域ごとの農業局に一任している。ただし、女性への配慮などは可能な限り行っている。 - 助成対象の研究については、知的所有権について一般的な条項として契約書に記載があるのみであり、今後、研究成果の帰属や利用、関連出版物の著作権、特許取得等に関する問題に適切に対処できよう、AICADの理念に合致した知的所有権規定を開発することが急務である。AICADは、コーディネーターを関連の会議に参加させるなど対応を開始しているほか、知的所有権に関する短期専門家派遣により検討する予定である。
	ターゲットグループ以外へ波及性はあるか		類似の協力事例がある、 国内における技術的蓄積がある	<ul style="list-style-type: none"> - 日本は、ケニア、ジョモ・ケニヤタ農工大学の創設以来20年にわたる協力を実施してきており、高等教育人材育成を通じて高等技術者の育成を実施してきた。こうした支援を通じて、JKUATで国内の人材育成が強化され、その結果直接的に自国の人材育成に関わっていく道筋ができた。また、JICAはタンザニアのSCSRDなど他の関連機関を支援してきており、これらアフリカに点在している高等教育人材もAICADと協働している。この経験から得た知見を活かしつつ本プロジェクトへの協力を行ってきている。
	その他	プロジェクト開始以降、プロジェクトを取り巻く環境（政策、経済、社会など）の変化はないか		<ul style="list-style-type: none"> - ケニアでは政権が交代したが、貧困削減政策の基本に変更はない。
有効性	アウトプットは達成されているか			(付属資料5を参照のこと)

	<p>プロジェクト目標の達成予測： 東アフリカ3国の共同プロジェクトとしてのAICADの組織・事業が確立し、貧困削減に資するアフリカの人材育成が図られる。</p>	<p>カウンタートパートの事業運営能力は向上したか。</p>	<p>企画・運営能力の向上を示す事例がある、各担当事業の実施に必要な業務の流れ及び業務内容を理解している、上記必要業務を独力で行うことができる</p>	<ul style="list-style-type: none"> - 助成対象の研究案件の絞り込み作業において、基本的に適切に実施されている。 - 研究案件の評価手法については、日本側からの助言により向上している。 - また、C/PSは日本人専門家との協働を通じて、研修の立ち上げ・事業化に関する一連のプロセスを開発し、実施している。 - 情報部門については、技術移転の成果により、独力でホームページ更新技術を習得している。また、データベース構築に向けて取り組んでいる。
	<p>AICAD 研究開発事業が活発に行われており、実用化に向けての動きが見られるか。</p>	<p>AICAD 削減に対する研究者の関心が高まる、貧困削減に向けて、実用的な技術が開発されている</p>	<p>貧困削減に対する研究者の関心が高まる、貧困削減に向けて、実用的な技術が開発されている</p>	<ul style="list-style-type: none"> - 報告会の発表では、一部を除き多くの研究者の報告は、専門外の者にも理解しやすい配慮がなされている。また、研究会では、分野を異にする研究者たちが「地域で実際に貧困を克服するためにはどうしたらより効果的か」につき議論を行う機会となっている。 - こうしたAICAD活動への参加を通じて、研究者の「研究を実際の貧困削減活動へつなげる」という意識は高まっており、研究スタイルへの影響も見受けられる。 - 戦略計画、各種ガイドラインなど円滑な組織運営に必要な文書は、一部策定されたが、依然一層の策定が必要である。 - スタッフ数については、現時点では十分とはいえず、さらなる増強が必要である。COsについてはスタッフの雇用形態、CDsの専任化などさらなる強化が必要である。 - スタッフの事業運営能力は、向上している。 - 政府による拠出金は、これまでのところ継続的に措置・支出されているが、支出は依然不安定である。
	<p>AICAD 事業の継続的実施に必要な仕組みが整備されたか。</p>	<p>運営規程、事業計画等組織運営に必要な文書が策定されている、必要な人材が配置されている、スタッフが必要な能力を有している、予算が継続的に措置されている</p>	<p>運営規程、事業計画等組織運営に必要な文書が策定されている、必要な人材が配置されている、スタッフが必要な能力を有している、予算が継続的に措置されている</p>	<ul style="list-style-type: none"> - プロジェクト目標の達成を阻害する要因は、これまでのところ特にない。 - ただし、活動の遅れ、スタッフ配置の遅れ、拠出金支出の不安定性などに留意する必要がある。
	<p>プロジェクト目標の達成を促進する要因はあるか</p>	<p>プロジェクト目標の達成を阻害する要因はあるか</p>	<p>プロジェクト目標の達成を阻害する要因はあるか</p>	<ul style="list-style-type: none"> - 関係機関・大学等の関心が高まってきており、実際に活動に参加している研究者については研究スタイルの変化が見受けられる。また、研修で得た知識・技術をコミュニティレベルで適用している例も見られる。 - 組織としてのステスディタスが確立し、各国政府からおおむね適切な支援を得ている。

	<p>アウトプットは、プロジェクト目標を達成するために十分であるか</p>		<p>- 現時点では活動の進捗が遅れているが、小規模ながら既にコミュニケーションレベルでの適用事例も見られるようになってきており、こうした事例から判断するに、終了時までにはある程度のコミュニケーションレベルの成果が出せると思われる。AICADスタッフ、モニタリング・評価を通じて研究者に対するAICADの指導（人材育成）、大学院生支援研究など人材育成（以上2点はR&D部門）、リソースパターンの設計・マテリアルの開発（以上T&E部門）、組織体制の整備、貧困削減に向けての意識向上などを実施している。</p> <p>- 外部条件の変化は見られず、現時点においても正しいと思われ。外部条件が満たされる可能性は高いと判断された。</p>
<p>因果関係</p>	<p>アウトプットからプロジェクト目標に至るまでの外部条件は、現時点においても正しいか。外部条件が満たされる可能性は高いか。</p>		
<p>効率性</p>	<p>アウトプットの達成度は適切か</p>	<p>目標値に沿った実績を上げている</p>	<p>(付属資料5を参照のこと)</p> <p>- 活動は全体的に遅れ気味であり、特に情報整備・発信部門に顕著ではある。しかし、同部門の活動の基盤が整いつつある。</p> <p>- 参加国による予算措置状況が不安定であり、必要なC/Psがタイミングよく採用できない状況である。また、銀行送金の遅れや大学内での配布遅延による影響も出てきている。このほか、R&Dについては長期専門家の派遣遅延によりパイロットモデルの進捗が遅れたことも一因となっている。</p> <p>- 情報整備・発信部門については、現地業務費（メンテナンスなど含む）は初年度に適切に予算が計画・請求されていなかった。今年度から予算措置されている。適切な予算措置をしていくためには、活動計画及び同計画に基づく予算の作成能力の向上及び予算管理が必要である。</p> <p>- 組織内の意思決定の仕組みは確立されているものの、依然、AICADマネジメントとJICAの間で意思決定プロセスにおいて、指揮命令系統が機能していないことがある。人員・時間配分が効率的になされていない。</p>
<p>アウトプットの達成度</p>	<p>アウトプット達成を阻害した要因はあるか</p>		
	<p>アウトプット達成を促進した要因はあるか</p>		<p>- C/Psは一定レベル以上の主体性をもって活動に臨んでおり、またAICAD事業のあり方について理解している。</p>

	因果関係	アウトプットを産出するために十分な投入であったか。	/	<ul style="list-style-type: none"> - AICAD側人員投入は、不安定かつ時々遅延の見られる拠出金の支払い以外はおおむね適切であった。 - 資金投入については、3カ国政府の多大な努力が認められるものの、人員投入への影響や活動の遅延の原因となっている。 - 日本側投入は、情報部門の専門家の専門分野とAICAD側ニーズとの不適合、TORの不適合や、研究開発部門の長期専門家派遣時期の遅れが、プロジェクト開始当初にあり、効率的なプロジェクト運営を阻害した。これは当初の投入計画自体に無理があり、また専門家派遣の直前にTORの変更等があったことも一因であると思われる。
タイミング	計画に沿って活動を行うために、過不足ない質・量の投入がタイミングよく実施されたか。実施されているか。	計画に沿ったタイミングで投入が実施されている	<ul style="list-style-type: none"> - フェーズ2を対象に日本側から供与された機材は、おおむね良好な状況で管理されている。活用状況についてもおおむね良好であるが、一部編集機器、GIS（ケニアのJICA開発調査チームに貸し出し中のものを除く）などあまり活用されていないものも見られる。これら機材について、より一層の有効活用に向けて努めている。 - 施設面においては、スペース、機能ともに十分な投入がなされている。AICAD本部建物については、セミナー室の大きさに多様性がないこと、障害者移動手段が不足していることなど若干の不備が見られるものの、現時点では活動に支障を来すような不備は出ていない。 - 日本人専門家派遣に先立って、アフリカ側各部門と合同での事前検討が必要との認識の下、対応策も講じられている。 	
コスト	類似プロジェクトと比較して、総投入コストは妥当であるか。	類似案件の総投入コストと比較して大幅な乖離がない	<ul style="list-style-type: none"> - 「タイ・アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト」は、地域複数国を対象として高等教育ネットワーク事業を行っており、対象国は東南アジアの10カ国である。AICADへのJICA側総投入コストはSEED-NETのそれよりも低いが、1カ国当たりの予算はAICADの方が高い。 - 類似プロジェクトは比較することはできないものの、独自アプローチと独自の予算配分をしているため、現時点では比較することはできない。妥当性を判断する根拠とはなり得ない。 - 他にAICADに類似するプロジェクトはない。 	
インパクト	上位目標の達成予測：貧困削減への取り組みが、育成された人材により進展する。	普及の体制が確立されている、実際に実用に移された効果を上げている技術がある、貧困削減に有用な研究成果が、研修を通じて普及している	<ul style="list-style-type: none"> - 研究開発及び研修普及部門とともに事業継続中で、コミュニティレベルの貧困削減へのインパクトはいまだ確認できない。 - ただし、AICAD活動への参加を通じて研究者の研究スタイルに、小規模ながら変化が生じつつあることから、今後よりコミュニティレベルの活動が増えることが期待できる。 - 研究開発は、研修につながる成果が依然提示できない段階にないことから、研修を通じた普及はまだ実施されていない。 - 研修受講者によるコミュニティへの適用事例で、既に農民世帯の収入向上をみた事例がある。 	

		上位目標の達成を阻害する要因はあるか。			<ul style="list-style-type: none"> - 現在のところ、阻害要因は見出されていない。上位目標の達成には、資金投入の持続可能性と事業の継続実施がこれまでどおり確保されることが重要である。 - 研究者の研究スタイルの変化、研修成果のコミュニケーションへの適用事例などから、両者は乖離していないものと判断される。
因果関係		上位目標とプロジェクト目標は乖離しているか。			<ul style="list-style-type: none"> - 外部条件に大きな変化は見られず、現時点においても重要と考えられる。 - 外部条件が満たされる可能性は、高いと判断された。
		プロジェクト目標から上位目標に至るまでの外部条件は、現時点においても正しいか。外部条件が満たされる可能性は高いか。			<ul style="list-style-type: none"> - 大学関係者をはじめ多くの人々がAICADに関心を寄せており、連携・協力に関するオプアームも増えてきている。 - これまでのところ、マイナスの影響は出ていない。
		波及効果		実施前と比較して、実施後に変化が見られる	<ul style="list-style-type: none"> - 大学関係者をはじめ多くの人々がAICADに関心を寄せており、連携・協力に関するオプアームも増えてきている。 - これまでのところ、マイナスの影響は出ていない。
				(同上)	<ul style="list-style-type: none"> - マイナスの影響は出ていない。 - 3カ国は隣国ではあるものの、草の根レベルで活動する人々の交流は少ない。AICADの活動を通じて隣人と知り合い、技術交換をする機会となっている。 - 研修については草の根レベルを対象としていることから、言葉の違いに配慮している。このため、教材は教カ国語で作成する必要がある。 - 特になし。
					<ul style="list-style-type: none"> - 貧困削減政策については終了後も継続する見通しである。
自立発展性 (見込み)	政策・制度面	政策支援は協力終了後も継続するか。			<ul style="list-style-type: none"> - 3カ国政府のAICAD憲章署名により、AICADは地域国際機関となった。 - 免税措置については、ケニア政府関係機関により手続きが進められており、現在署名を待っている段階である。
		関連規制、法制度は整備されているか。整備される予定か。			

組織・財政面	協力終了後も、効果を上げていくための活動を実施するに足る組織能力はあるか。	組織面においては、依然空きポストがあることからわかるように人員が不足しているため、プロジェクト後半期間を通じて、活動経費とバランスの取れた経費の範囲内で適切な人員配置を進めていく必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> - 組織面においては、依然空きポストがあることからわかるように人員が不足しているため、プロジェクト後半期間を通じて、活動経費とバランスの取れた経費の範囲内で適切な人員配置を進めていく必要がある。 - 各部門の業務については、着実な実施能力の向上を見ているが、今後は、組織として運営やコーディネーションのノウハウを蓄積し引き継いでいく仕組みを構築していく必要がある。
	研究開発成果を研修・普及していくための組織的枠組みは整備されているか。	AICADは4つの事業部門のひとつとして研修普及部門を有しているほか、研究成果は情報部門を通じても発信することができ、組織的枠組みは整備されている。	<ul style="list-style-type: none"> - AICADは4つの事業部門のひとつとして研修普及部門を有しているほか、研究成果は情報部門を通じても発信することができ、組織的枠組みは整備されている。
	必要な事業計画(短期・長期)を整備しているか。	長期計画として戦略計画が作成されJWCで承認された。短期計画については、同計画に基づき年間計画を作成中である。	<ul style="list-style-type: none"> - 長期計画として戦略計画が作成されJWCで承認された。短期計画については、同計画に基づき年間計画を作成中である。
	実施機関のプロジェクトに対するオーナーシップは、十分に確保されているか。	実施機関であるAICADは、戦略計画の策定プロセスを通じてオーナーシップが高まってきた。アカウンタビリテイ、責任感、コミットメントなどもう少し対応が必要な部分はあるので、プロジェクト活動の一環として高めていく。	<ul style="list-style-type: none"> - 実施機関であるAICADは、戦略計画の策定プロセスを通じてオーナーシップが高まってきた。アカウンタビリテイ、責任感、コミットメントなどもう少し対応が必要な部分はあるので、プロジェクト活動の一環として高めていく。
	経常経費を含む予算の確保は行われているか。予算措置は十分に講じられているか。	予算については、3カ国の拠出金を得ているほかICA（ゲストハウス、カフェテリアの経営など）による利益を上げている。拠出金については、要請額には満たないものの約束額は拠出されており、評価に値する。	<ul style="list-style-type: none"> - 予算については、3カ国の拠出金を得ているほかICA（ゲストハウス、カフェテリアの経営など）による利益を上げている。拠出金については、要請額には満たないものの約束額は拠出されており、評価に値する。 - 今後、管理費が拡大する可能性があるため、留意が必要である。
	将来の予算が増える可能性はどの程度あるか。予算確保のための対策は十分か。	3カ国政府による拠出金は、現状については維持される見通しである。ただし、増える可能性については、今後の省内の優先順位とAICADの活動・成果により左右される可能性がある。今後は、研修普及事業の拡大などICAによる経費確保のほか、目に見える成果を挙げることでより各国政府及びドナーの支援を得られるよう努めていく。	<ul style="list-style-type: none"> - 3カ国政府による拠出金は、現状については維持される見通しである。ただし、増える可能性については、今後の省内の優先順位とAICADの活動・成果により左右される可能性がある。今後は、研修普及事業の拡大などICAによる経費確保のほか、目に見える成果を挙げることでより各国政府及びドナーの支援を得られるよう努めていく。
技術面	アフリカにおいて適用可能かつ実用的な技術が研究・開発されているか。	助成対象の研究案件は、すべてフィールドを設定して実施されており、そこで適用可能かつ実用的な技術の研究・開発を行うこととなっていることから、こうした原則に則り適切な案件選定と支援が行われれば、高い適用可能性及び実用性が確保できると思われる。既に普及・実用に向けての動きを開始した案件もある。	<ul style="list-style-type: none"> - 助成対象の研究案件は、すべてフィールドを設定して実施されており、そこで適用可能かつ実用的な技術の研究・開発を行うこととなっていることから、こうした原則に則り適切な案件選定と支援が行われれば、高い適用可能性及び実用性が確保できると思われる。既に普及・実用に向けての動きを開始した案件もある。
	普及のメカニズムはプロジェクトに取り込まれているか。	AICADは研修普及及び情報収集・発信機能を有しており、普及のメカニズムを構築していくこととなっている。今後は、研究開発事業からの成果も研修へと活用していくことにより、より一層の普及が期待できる。	<ul style="list-style-type: none"> - AICADは研修普及及び情報収集・発信機能を有しており、普及のメカニズムを構築していくことにより、より一層の普及が期待できる。

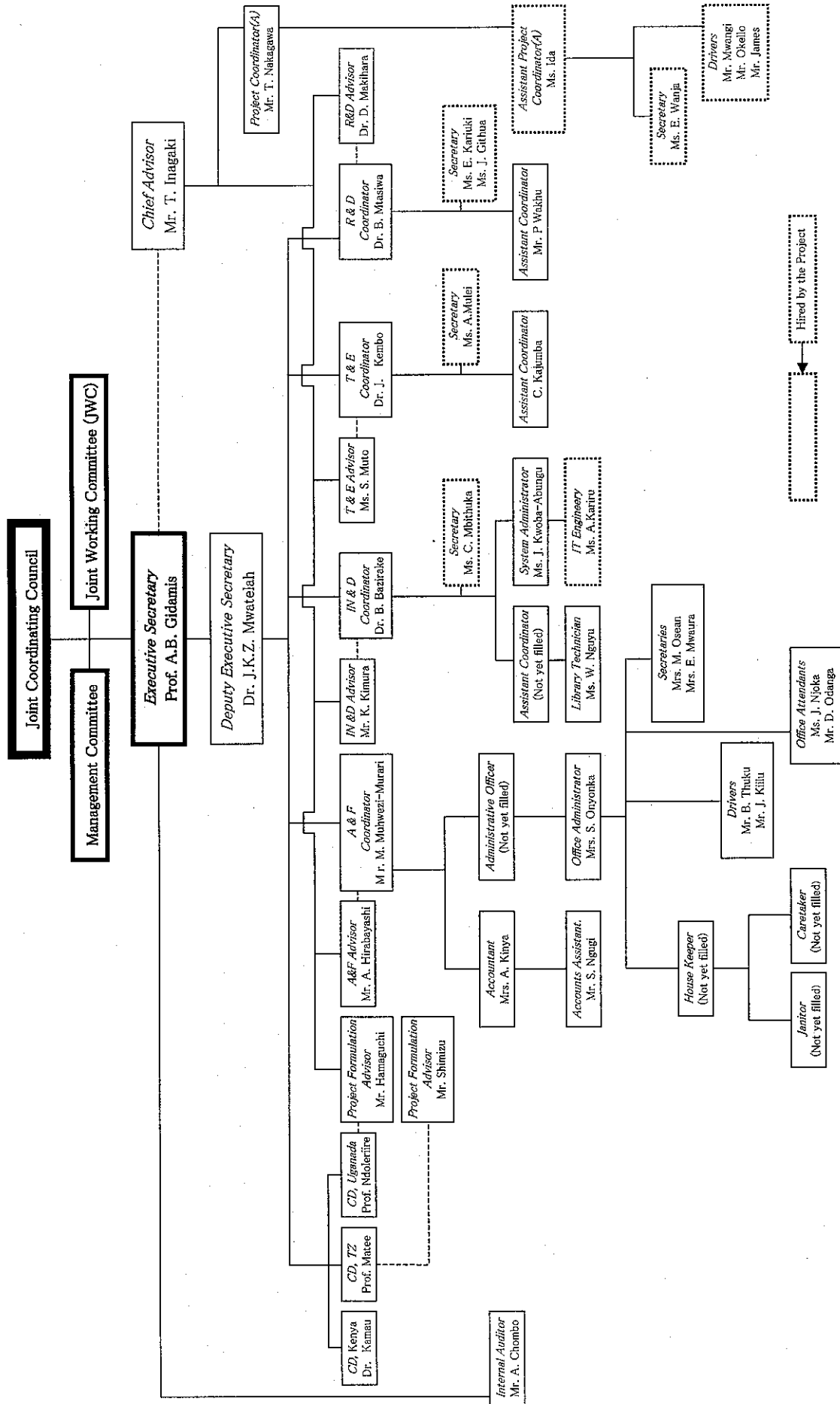
		大学、研究所等関連機関との業務提携・連携関係が良好に維持され、発展していく見通しはあるか。			<p>- これまでのところAICADに関心を寄せる関係機関は増えてきており、既にMOUを締結し具体的な協力を模索している機関も出てきている。南南協力など東アフリカ以外の諸国からの関心も集めつつあることから、今後の発展が期待される。</p> <p>- 情報部門におけるデータベースの構築及びAICADの戦略的な広報により一層の注目と連携関係の発展が期待される。</p>
		AICADスタッフの多くが、プロジェクト終了後もAICADに残る見通しはあるか。			<p>- AICADはポストごとの採用であり昇進がないため、スタッフの継続勤務を促進するために何らかのインセンティブを作り出す必要がある。現在は日本研修を含む研修、また研修補助などがインセンティブとなっていると思われるが、今後一層の充実を図る必要がある。</p> <p>- 運営面における自立発展性を確保するためには、スタッフ間の情報共有を強化するとともに、スタッフの辞職に備えて引継ぎ方法を確立しておくことが必要である。フェーズ1からフェーズ2への移行時に引継ぎがほとんどなされなかったこと、また、スタッフ数が少ない、部門間の移動がないため業務の共有化が難しい、スタッフ間のコミュニケーションが少なく、といった点に留意していく必要がある。</p>
		資機材の維持管理は適切に行われているか。		機材利用台帳が作成・活用されている	<p>- 日本側から供与された機材は、おおむね良好な管理状況にある。</p> <p>- 資機材のインベントリが作成されており、総務・財務部門が管理している。修理工定期点検についてはAICAD内部に技術者がいないため外注しており、同サービスの管理はIT関連機器を情報管理部門が、それ以外の機材を総務・財務部門が管理している。こうしたサービスに対する支出額は188万4,714Kshであり、全額AICAD収益金から支出されている。</p>
	社会・文化・環境面	女性、貧困層等への配慮不足により持続性を妨げる可能性はないか。			<p>- これまでのところ、負の影響はなく、持続性を妨げる可能性は見られない。</p>
		環境への配慮不足により、持続性を妨げる可能性はないか。			<p>- (同上)</p>
	その他	自立発展性を阻害するその他の要因はあるか。			<p>- これまでのところ、負の影響は出ていない。</p>
軌道修正の必要性	このままでプロジェクト目標の達成は望めるか。				<p>- 過去2年間の実績と経験及び戦略計画策定による目標を定めたことから、同計画に基づいて同目標の達成に向けて関係者一同実行に努める必要がある。</p>

	投入、活動、アウトプットの内容を軌道修正する必要があるか。			<ul style="list-style-type: none"> - 特段の軌道修正の必要はないが、3つの主要活動部門をより効果的に連携していく必要がある。 - 既存PDMは、活動及びアウトプットを部門別の切り口でとらえ記載しており、実施において部門間の連携が必要であることを表す形となっていない。したがって、既存PDMを戦略計画に即した形に修正することが望ましい。 - 今後、AICADの活動にNGOs、CBOsなど大学以外の機関を巻き込んでいけるか否かが重要である。
	プロジェクトに影響を与える新たな外部条件はあるか。			
	プロジェクト開始時に指摘された問題・課題・リスクなどに変化はあるか。		事前評価の記載と実際の状況を比較して、大幅な乖離がない	<ul style="list-style-type: none"> - 3カ国からの拠出金は確実に実行されつつあり、またAICADに対する期待にも前向きな姿勢がうかがえる。15大学を中心とする事業活動を戦略計画策定後順次改革していく姿勢を評価できる。
	今後、留意していかなければならないこととは何か。			<ul style="list-style-type: none"> - 3カ国からの拠出金のコミットメントと確実な送金を確保するため、AICAD活動の各国での強化と一層の広報を促進する必要がある。

OVERALL PLAN OF OPERATIONS (2005-2007)

<p>1.2.3 知識・技術・ネットワークのギヤップを明確にするため、AICAD全体として調和のとれた(3つの運営部門と関係者を巻き込んだ)運用制度を確立する(例:コミュニティエンバワメントやネットワーク・プロジェクト、研発部門のワークショップ)におけるニーズ調査のコンポーネント) Workout a harmonized operational system to identify K&T gaps as a whole (AICAD involving the three operational divisions and stakeholders. (eg. The component of needs survey of Community Empowerment and Networking Project, Needs survey and similar activities by T&E and R&D))</p>								R&D, T&E, IN&D, COs	
--	--	--	--	--	--	--	--	------------------------	--

8. AICAD組織図



9-1. 専門家派遣実績

専門家氏名	指導科目	派遣期間		区分	本邦所屬先
		自	至		

フェーズ1 専門家 2000年8月1日～2002年7月31日

熊野 秀一	チーフアドバイザー	H12.08.08	H14.07.31	長期	フェーズ2へ継続	国際協力事業団
飯田 護	業務調整	H12.08.13	H14.07.31	長期	フェーズ2へ継続	(社) 青年海外協力協会
山本 禎紀	研究開発 (農学)	H13.04.10	H14.04.09	長期		広島大学名誉教授
柏木 考平	情報・広報	H14.01.16	H14.07.31	長期	フェーズ1から継続	インターナショナルトレードサービスイズ株式会社
中澤 繁樹	広域業務調整	H14.02.04	H14.07.31	長期	フェーズ1から継続	(社) 青年海外協力協会
高村 泰雄	運営管理	H13.01.21	H13.03.20	短期		京都大学名誉教授
北川 勝弘	運営指導 (熱帯農林学)	H13.01.21	H13.03.20	短期		名古屋大学
保科 秀明	実施研究	H13.01.21	H13.02.10	短期		国際協力総合研修所
木村 亮	工学研究	H13.01.23	H13.02.01	短期		京都大学
半澤 和男	農学研究開発基礎研究	H13.01.21	H13.02.10	短期		日本大学
石 弘之	環境分野における共同研究・開発活動強化	H13.04.03	H13.08.31	短期		東京大学

フェーズ2 専門家 2002年8月1日～現在

熊野 秀一	チーフアドバイザー	H14.08.01	H14.08.07	長期	フェーズ1から継続	国際協力事業団
飯田 護	業務調整	H14.08.01	H15.10.30	長期	フェーズ1から継続	(社) 青年海外協力協会
柏木 考平	情報・広報	H14.08.01	H16.01.15	長期	フェーズ1から継続	インターナショナルトレードサービスイズ株式会社
中澤 繁樹	広域業務調整	H14.08.01	H16.08.03	長期	フェーズ1から継続	(社) 青年海外協力協会
花井 正明	チーフアドバイザー	H14.09.16	H16.09.15	長期		国際協力総合研修所
武藤 小枝里	人的資源開発	H14.10.30	H17.04.29	長期	派遣中	
横原 大悟	研究開発事業	H15.04.01	H17.03.31	長期	派遣中	名古屋大学 (派遣前)
平林 淳利	事業運営管理	H15.10.28	H17.10.10	長期	派遣中	
中川 隆志	業務調整	H16.07.24	H18.07.23	長期	派遣中	(有) アールディーアイ
稲垣 富一	チーフアドバイザー	H16.08.29	H18.08.28	長期	派遣中	国際協力総合研修所
木村 憲二	情報収集加工	H16.08.31	H18.08.23	長期	派遣中	アイ・シー・ネット株式会社
清水 俊博	タンザニア事業運営企画	H16.08.01	H18.07.31	長期	派遣中	

高村 泰雄	運営管理	H15.02.08	H15.02.20	短期		京都大学名誉教授
齋藤 正樹	運営管理	H15.02.08	H15.02.20	短期		財) 国際開発高等教育機構
北川 勝弘	運営指導 (熱帯農林学)	H15.03.01	H15.03.16	短期		名古屋大学
木村 亮	運営指導 (工学)	H15.03.08	H15.03.16	短期		京都大学
田中 由美子	社会科学	H15.07.19	H15.08.04	短期		国際協力総合研修所
萩原 なつ子	環境社会学	H15.07.19	H15.08.04	短期		武蔵工業大学
屋富祖 健	ウェブサイト構築/ホームページ制作 1	H15.10.11	H15.11.19	短期		株式会社 沖縄富士通システムエンジニアリング
新城 長	データベース構築 1	H15.11.09	H15.11.19	短期		株式会社 沖縄富士通システムエンジニアリング
小山 良夫	研究審査支援 (社会科学)	H16.01.06	H16.01.21	短期		国際協力総合研修所
山中 光二	研究審査支援 (農学)	H16.01.06	H16.01.22	短期		国際協力総合研修所
三好 皓一	モニタリング・評価手法開発	H16.02.28	H16.03.08	短期		立命館アジア太平洋大学
石田 滋雄	戦略計画立案指導	H16.03.03	H16.05.10	短期		国際協力総合研修所
栗野 晴子	戦略計画策定監理	H16.03.13	H16.08.08	短期		アイ・シー・ネット株式会社
松本 哲男	研究開発 (農学)	H16.03.27	H16.04.08	短期		名古屋大学
海老原 孝徳	ウェブサイト構築/ホームページ制作 2	H16.03.28	H16.04.25	短期		株式会社富士通ラーニングメディア
木村 憲二	情報部門整備計画策定	H16.03.28	H16.06.27	短期		アイ・シー・ネット株式会社
山中 光二	研究成果普及計画指導 (農学)	H16.06.19	H16.06.26	短期		国際協力総合研修所
小山 良夫	研究成果普及計画指導 (社会科学)	H16.06.19	H16.06.24	短期		国際協力総合研修所
村上 洋治	ネットワーク技術	H16.9.14	H16.10.30	短期		株式会社 日本開発サービス
栗野 晴子	戦略計画調整	H16.11.03	H16.11.22	短期		アイ・シー・ネット株式会社
小山 良夫	研究プロポーザル選考支援	H16.11.27	H16.12.16	短期		国際協力総合研修所

濱口 俊典	企画調査員 (アフリカ人造り拠点支援)	H15.04.10	H17.04.09	企画	派遣中	国際協力総合研修所
-------	---------------------	-----------	-----------	----	-----	-----------

9-2. カウンターパート研修受入れ実績

フェーズ	名前 Name	研修名 Title of training	期間 Duration	研修場所 Place of training	担当分野 Division
フェーズ 1	ラテモ・ミチエカ Prof. Ratemo W. Michieka	組織運営管理 Project Administration and Management	2001年9月28日-2001年10月20日 28Sep. 2001-20 Oct. 2001	日本・インドネシア Japan/Indonesia	ジョモ・ケニヤッタ農工大 JKUAT
	ジョスファアット・ムアテラ Dr. Josphat K. Z. Mwatehah	組織運営管理 Project Administration and Management	2001年9月28日-2001年11月8日 28Sep. 2001-8 Nov. 2001	日本・インドネシア Japan/Indonesia	AICAD/ジョモ・ケニヤッタ農工大 AICAD/JKUAT
	ジョエル・ベリア Mr. Joel M. Mberia	組織運営管理 Project Administration and Management	2001年9月28日-2001年11月8日 28Sep. 2001-8 Nov. 2001	日本・インドネシア Japan/Indonesia	AICAD/ジョモ・ケニヤッタ農工大 AICAD/JKUAT
	サミュエル・モカヤ Mr. Samuel K. Mokaya	農村開発を通じた貧困削減 Poverty Reduction through Rural Development	2002年10月4日-2002年11月3日 04 Oct. 2002 - 03 Nov. 2002	インドネシア Indonesia	ジョモ・ケニヤッタ農工大 JKUAT
	ムワキマ Mr. V. M. Mwakima	プロジェクト事業計画運営管理 Project Administration and Management	2003年9月25日-2003年10月8日 25 Sep. 2003 - 08 Oct. 2003	日本 Japan	ケニヤ教育科学技術省 Kenya MoEST
	ロビン・アチョキ Mr. Robin Achoki	プロジェクト事業計画運営管理 Project Administration and Management	2003年11月(2週間) Nov. 2003 (2 weeks)	日本 Japan	ケニヤ財務省 Kenya MoF
	パサル・ムデム Mr. Pascal Mdemu	プロジェクト事業計画運営管理 Project Administration and Management	2003年9月25日-2003年10月8日 25 Sep. 2003 - 08 Oct. 2003	日本 Japan	タンザニア科学技術高等教育省 Tanzania MoSTHE
	アンドリュウ・ギダミス Prof. Andrew B. Gidamis	プロジェクト事業計画運営管理 Project Administration and Management	2003年9月25日-2003年10月8日 25 Sep. 2003 - 08 Oct. 2003	日本 Japan	AICAD 事務局長 AICAD Executive Secretary
	カレガ・ムタヒ Prof. Karega Mutahi	プロジェクト事業計画運営管理 Project Administration and Management	2003年10月13日-2003年10月21日 13 Oct. 2003 - 21 Oct. 2003	日本 Japan	ケニヤ教育科学技術省 Kenya MoEST
	ジェーン・ケンボ Dr. Jane Kenbo	研究・開発運営管理 Research and Development Management	2004年7月12日-2004年7月23日 12 Jul. 2004 - 23 Jul. 2004	日本 Japan	研修・普及部長 Training & Extension Coordinator
フェーズ 2	ベネディクト・ムタシワ Dr. Benedict Mtwasiwa	人材育成計画・運営管理 Human Resources Development Planning and Management	2004年7月12日-2004年7月23日 12 Jul. 2004 - 23 Jul. 2004	日本 Japan	研究・開発部長 Research & Development Coordinator
	ムフウェジ・ムラリ Mr. M. A. Muluwezi-Murari	組織運営企画管理 Organization Planning and Management	2004年10月2日-2004年10月16日 02 Oct. 2004 - 16 Oct. 2004	日本 Japan	総務・経理部長 Administration & Finance Coordinator
	バジラケ・バムヒリガ Dr. B. Bazirake-Bamuhliiga	OSS、経営情報システム、GIS OSS, Management Information Systems, GIS	2004年11月16日-2004年12月12日 16 Nov. 2004 - 12 Dec. 2004	日本 Japan	情報・発信部長 Information & Documentation

9-3. 供与機材リスト

年度 NO.	機材名 / 仕様	取得数量	処分数量	現在数量	通貨	単価	金額	単価(円)	金額(円)	交換レート	通貨	備考	状態	使用頻度	保証場所	取得日	AWB/BL	機材の種類
H12-001	TOYOTA LAND CRUISER HZJ108GX WARM SILVER	1	0	1	US\$	35,697.00	35,697.00	4,212,246	4,212,246	US\$	YEN				Garage	30/Mar/2001		供与機材
H12-002	SUBARU FORESTER WAGON JFJ5F5KJXG028170 2000cc 4WD WAGON WHITE	1	0	1	Kshs	1,700,000.00	1,700,000.00	2,638,400	2,638,400	Kshs	YEN				Garage	30/Mar/2001		供与機材
H12-003	PRINTER COPIER + NETWORK BOARD, FINISHER OPTION CANON IR6000	1	0	1	US\$	19,679.49	19,679.49	2,322,180	2,322,180	US\$	YEN				Secretary (Project Coordinator)	30/Mar/2001		供与機材
H12-004	TONER BLACK C-EXV1	5	0	5	US\$	173.08	865.40	20,423	102,117	US\$	YEN				Ass. T&E Coordinator	30/Mar/2001		供与機材
H12-005	COPIER + NETWORK BOARD, FINISHER OPTION CANON IR5000	1	0	1	US\$	16,884.61	16,884.61	1,992,384	1,992,384	US\$	YEN					30/Mar/2001		供与機材
H12-006	TONER BLACK C-EXV1	5	0	5	US\$	173.08	865.40	20,423	102,117	US\$	YEN					30/Mar/2001		供与機材
H12-007	COLOUR COPIER + DOCUMENT FEEDER CANON CP660	1	0	1	US\$	13,474.36	13,474.36	1,589,974	1,589,974	US\$	YEN				Secretary (Project Coordinator)	30/Mar/2001		供与機材
H12-008	TONER COLOUR F 42-3621-010	5	0	5	US\$	285.58	1,427.90	33,688	168,492	US\$	YEN					30/Mar/2001		供与機材
H12-009	TONER BLACK F 42-3601-010	5	0	5	US\$	197.44	987.20	23,298	116,490	US\$	YEN					30/Mar/2001		供与機材
H12-010	SERVER PC / 15" MONITOR COMPAQ PROLIANT ML270, 2X / COMPAQ S510	1	0	1	US\$	8,600.00	8,600.00	1,014,800	1,014,800	US\$	YEN					30/Mar/2001		供与機材
H12-011	SERVER SOFTWARE -007 MS EXCHANGE SERVER 2000 5 USER	1	0	1	US\$	4,950.00	4,950.00	584,100	584,100	US\$	YEN					30/Mar/2001		供与機材
H12-012	LAPTOP COMPAQ ARMADA E500	5	0	5	US\$	2,922.00	14,610.00	344,796	1,723,980	US\$	YEN					30/Mar/2001		供与機材
H12-013	COMPUTER + MONITOR COMPAQ DESKPRO EXP/1733C1	8	0	8	US\$	1,390.00	11,120.00	154,920	1,312,160	US\$	YEN					30/Mar/2001		供与機材
H12-014	FD DRIVE 3.5" INTERNAL	2	0	2	US\$	20.00	40.00	2,360	4,720	US\$	YEN					30/Mar/2001		供与機材
H12-015	ZIP DRIVE OMEGA 250MB INTERNAL	5	0	5	US\$	98.00	490.00	11,564	57,820	US\$	YEN					30/Mar/2001		供与機材
H12-016	ZIP DISK (Pack of 100) OMEGA 100MB	1	0	1	US\$	140.00	140.00	16,520	16,520	US\$	YEN					30/Mar/2001		供与機材
H12-017	USB CABLE BELKIN	16	0	16	US\$	20.00	320.00	2,360	37,760	US\$	YEN					30/Mar/2001		供与機材
H12-018	EXTERNAL STORAGE MAXTOR 40GB	4	0	4	US\$	466.00	1,864.00	54,988	219,952	US\$	YEN					30/Mar/2001		供与機材
H12-019	ETHERNET 3 COM 36 PORT	1	0	1	US\$	325.00	325.00	38,350	38,350	US\$	YEN					30/Mar/2001		供与機材
H12-020	UPS APC 650 VA	10	0	10	US\$	233.00	2,330.00	27,494	274,940	US\$	YEN					30/Mar/2001		供与機材
H12-021	PRINTER HP LASERJET 1200	2	0	2	US\$	430.00	860.00	50,740	101,480	US\$	YEN				Project Coordinator IN&D Advisor	30/Mar/2001		供与機材
H12-022	SCANNER HP SCANJET 7400c	1	0	1	US\$	465.00	465.00	54,870	54,870	US\$	YEN				e-Contents Production Unit	30/Mar/2001		供与機材
H12-023	SOFTWARE FILEMAKER PRO 13 USER LICENCE	1	0	1	US\$	4,933.00	4,933.00	582,094	582,094	US\$	YEN					30/Mar/2001		供与機材
H12-024	SOFTWARE ILMMS OFFICE 2000 PRO 13 USER LICENCE	1	0	1	US\$	4,588.00	4,588.00	541,384	541,384	US\$	YEN					30/Mar/2001		供与機材
H12-025	SOFTWARE ILM VISUAL BASIC 6.0 5 USER LICENCE	1	0	1	US\$	3,145.00	3,145.00	371,110	371,110	US\$	YEN				Project Coordinator	30/Mar/2001		供与機材
H12-026	SOFTWARE ADOBE ILLUSTRATOR 9.0	1	0	1	US\$	2,000.00	2,000.00	236,000	236,000	US\$	YEN				Project Coordinator	30/Mar/2001		供与機材
H12-027	VIDEO PROJECTOR SONY VPL CS10	2	0	2	US\$	5,980.00	11,960.00	705,640	1,411,280	US\$	YEN				Project Coordinator JICA Kenya	30/Mar/2001		供与機材
H12-028	SLIDE PROJECTOR ELITE JAGUAR 4	2	0	2	US\$	650.00	1,300.00	76,700	153,400	US\$	YEN				Project Coordinator	30/Mar/2001		供与機材

年度 NO.	機材名/仕様	取得数量	処分数量	現在数量	通貨	単価	金額	単価(円)	金額(円)	交換レート 1** =	通貨	保管場所	使用頻度	備考	取得日	AWB/BL	機材の種類
H12	G12-021 PROJECTOR SCREEN 96" X 70" TRIPOD	4	0	4	US\$	548.00	2,192.00	84,664	258,656	US\$	YEN	ICT Store (3) JICA Kenya (1)			30/Mar/2001		供与機材
H12	G12-022 OHP ELITE VISON 4000	2	0	2	US\$	944.00	1,888.00	111,392	222,784	US\$	YEN	Project Coordinator			30/Mar/2001		供与機材
H12	G12-023 LASER POINTER LASERLYTE 200 Class 2	4	0	4	US\$	80.00	320.00	9,440	37,760	US\$	YEN	Project Coordinator			30/Mar/2001		供与機材
H12	G12-024 DIGITAL VIDEO CAMERA SONY DCR-PC 110E	2	0	2	US\$	2,117.00	4,234.00	249,806	499,612	US\$	YEN	Project Coordinator			30/Mar/2001		供与機材
H12	G12-025 DIGITAL CAMERA SONY CYBER SHOT WITH SMART CARD DSC-F506V	2	0	2	US\$	1,150.00	2,300.00	135,700	271,400	US\$	YEN	Project Coordinator			30/Mar/2001		供与機材
H12	G12-026 TELEVISION (MULTI) SONY WEGA 25" COLOUR	2	0	2	US\$	1,470.00	2,940.00	173,460	346,920	US\$	YEN	Store (Ground Floor, Block B)			30/Mar/2001		供与機材
H12	G12-027 DIGITAL VCR SONY	2	0	2	US\$	700.00	1,400.00	82,600	165,200	US\$	YEN	Store (Ground Floor, Block B)			30/Mar/2001		供与機材
H12	G12-028 VCR VHS (MULTI) SONY	2	0	2	US\$	292.00	584.00	34,456	68,912	US\$	YEN	Store (Ground Floor, Block B)			30/Mar/2001		供与機材
H12	G12-029 PARY PANASONIC KX-TD 1232DBX WITH OPERATOR CONSOLE	1	0	1	US\$	2,764.00	2,764.00	326,152	326,152	US\$	YEN	AICAD Ex-Office			30/Mar/2001		供与機材
H12	G12-030 TELEPHONE ACCESS. (CABLING) PANASONIC KX-TS 17MX-W	1	0	1	US\$	750.00	750.00	88,500	88,500	US\$	YEN	AICAD Ex-Office			30/Mar/2001		供与機材
H12	G12-031 TELEPHONE EQUIPMENT PANASONIC KX-TS 17MX-W	20	0	20	US\$	99.00	1,980.00	11,682	233,640	US\$	YEN	AICAD Ex-Office			30/Mar/2001		供与機材
H12	G12-032 FACSIMILE PANASONIC PLAIN PAPER FAX KX-FM131BX	1	0	1	US\$	454.00	454.00	53,572	53,572	US\$	YEN	Registry			30/Mar/2001		供与機材
H12	G12-033 TYPEWRITER IBM WHEEL WRITER 3000	2	0	2	US\$	525.00	1,050.00	61,950	123,900	US\$	YEN	Secretary (A&F, Project Coordinator)			30/Mar/2001		供与機材
H12	G12-034 BINDING MACHINE REXEL CB3000	1	0	1	US\$	345.00	345.00	40,710	40,710	US\$	YEN	Project Coordinator			30/Mar/2001		供与機材
H12	G12-035 WHITE BOARD 6FTX3FT	6	0	6	US\$	520.00	3,120.00	61,360	366,160	US\$	YEN	AICAD			30/Mar/2001		供与機材
H12	G12-036 WHITE BOARD 4FTX3FT	22	0	22	US\$	470.00	10,340.00	55,460	1,220,120	US\$	YEN	AICAD			30/Mar/2001		供与機材
H12	G12-037 CONFERENCE TABLE 2700L AT	1	0	1	US\$	546.70	546.70	64,511	64,511	US\$	YEN	Board Room (Outside)			30/Mar/2001		供与機材
H12	G12-038 VISITORS CHAIRS WITHOUT ARMS TOSCA	12	0	12	US\$	60.00	720.00	7,080	84,960	US\$	YEN	AICAD			30/Mar/2001		供与機材
H12	G12-039 COMPUTER WORKSTATION 1200X1200 CD 5149	21	0	21	US\$	237.00	4,977.00	27,966	587,286	US\$	YEN	AICAD			30/Mar/2001		供与機材
H12	G12-040 SIDE TABLES 800X800 SD 5126	25	0	25	US\$	161.00	4,025.00	18,998	474,950	US\$	YEN	AICAD			30/Mar/2001		供与機材
H12	G12-041 M/B SWIVEL CHAIRS S 106	21	0	21	US\$	136.00	2,856.00	16,048	337,008	US\$	YEN	AICAD			30/Mar/2001		供与機材
H12	G12-042 FILE CABINET 800w SC 5125	25	0	25	US\$	244.00	6,100.00	28,792	719,800	US\$	YEN	AICAD			30/Mar/2001		供与機材
H12	G12-043 MOBILE DRAWERS DB 5130	29	0	29	US\$	194.00	5,626.00	28,892	663,868	US\$	YEN	AICAD			30/Mar/2001		供与機材
H12	G12-044 DOCUMENT HOLDER + CLAMP CL 01A HR 2900	12	0	12	US\$	90.00	1,080.00	10,620	127,440	US\$	YEN	AICAD			30/Mar/2001		供与機材
H12	G12-045 SCREEN PANELS 1000x1200h / PANEL CONNECTOR / PANEL JUNCTIONURE / END COVERS / BRACKETS HFC 122N10 / HP 12Z / HNC 01Z / HE 12Z / HBR 01	14	0	14	US\$	326.00	4,564.00	38,468	538,552	US\$	YEN	AICAD			30/Mar/2001		供与機材
H12	G12-046 INTERMEDIATE DESK 2000mmx800mm RD 5140	4	0	4	US\$	187.00	748.00	22,066	86,264	US\$	YEN	AICAD			30/Mar/2001		供与機材
H12	G12-047 L TYPE DESK CD 5159	4	0	4	US\$	333.00	1,332.00	39,294	157,176	US\$	YEN	AICAD			30/Mar/2001		供与機材
H12	G12-048 AID DESK AD 5130	2	0	2	US\$	105.80	211.60	12,484	24,969	US\$	YEN	AICAD			30/Mar/2001		供与機材
H12	G12-049 EXECUTIVE CHAIRS S 108	4	0	4	US\$	180.00	720.00	21,240	84,960	US\$	YEN	AICAD			30/Mar/2001		供与機材

年度	NO.	機材名/仕様	取得数量	処分数量	現在数量	通貨	単価	金額	単価(円)	金額(円)	交換レート 1** =	通貨	備考	状態	使用頻度	保管場所	取得日	AWB/BL	機材の種類
H12	G12-043	BOOKSHELVES ES 5152	10	0	10	US\$	308.80	3,088.00	36,438	364,384	US\$ 118	YEN				AICAD	30/Mar/2001		供与機材
H13	G13-001	TOYOTA PRADO LANDCRUISER (KENYA) L195R-GKMS RED MICA	1	0	1	US\$	23,765.00	23,765.00	3,208,275	3,208,275	US\$ 135	YEN				Garage	28/Mar/2002		供与機材
H13	G13-002	TOYOTA PRADO LANDCRUISER (KENYA) L195R-GKMS CRYSTAL SILVER	1	0	1	US\$	23,765.00	23,765.00	3,208,275	3,208,275	US\$ 135	YEN				Garage	28/Mar/2002		供与機材
H13	G13-003	TOYOTA PRADO LANDCRUISER (TANZANIA) L195R-GKMS GREEN MICA	1	0	1	US\$	25,795.00	25,795.00	3,482,325	3,482,325	US\$ 135	YEN				Country Director (Tanzania)	28/Mar/2002		供与機材
H13	G13-004	TOYOTA PRADO LANDCRUISER (UGANDA) L195R-GKMS RED MICA	1	0	1	US\$	24,512.00	24,512.00	3,309,120	3,309,120	US\$ 135	YEN				Country Director (Uganda)	28/Mar/2002		供与機材
H13	G13-005	LAPTOP TOSHIBA SATELLITE 1800-S207	15	0	15	US\$	1,795.00	26,925.00	242,325	3,634,875	US\$ 135	YEN				Researcher, CD (TZ, UG) T&E/IN&D Adviser, PC	28/Mar/2002		供与機材
H13	G13-006	ETHERNET CNET SINGLEPOINT PCMCIA	15	0	15	US\$	48.00	735.00	6,615	99,225	US\$ 135	YEN					28/Mar/2002		供与機材
H13	G13-007	PRINTER HEWLETT PACKARD HP 350CBI	15	0	15	US\$	300.00	4,500.00	40,500	607,500	US\$ 135	YEN				Researcher, CD (TZ, UG) Project Coordinator	28/Mar/2002		供与機材
H13	G13-008	SERVER / 15" MONITOR HEWLETT PACKARD HP 530 / COMPAQ V570	2	0	2	US\$	7,450.00	14,900.00	1,005,750	2,011,500	US\$ 135	YEN				AICAD Ex-Office	28/Mar/2002		供与機材
H13	G13-009	LCD MONITOR AOPEN F50e 15"	2	0	2	US\$	475.00	950.00	64,125	128,250	US\$ 135	YEN				IN&D Advisor	28/Mar/2002		供与機材
H13	G13-010	UPS PROSS 1050ES 500VA	10	0	10	US\$	95.00	950.00	12,825	128,250	US\$ 135	YEN					28/Mar/2002		供与機材
H13	G13-011	VIDEO PROJECTOR SONY CS4	9	0	9	US\$	2,750.00	24,750.00	371,250	3,941,250	US\$ 135	YEN				JICA (TZ, UG), CD (TZ, UG) Project Coordinator	28/Mar/2002		供与機材
H13	G13-012	DIGITAL CAMERA HEWLETT PACKARD HP PHOTOSMART 316xi	10	0	10	US\$	395.00	3,950.00	53,325	533,250	US\$ 135	YEN				AICAD Ex-Office	28/Mar/2002		供与機材
H13	G13-013	COMPACT FLASH MEMORY KINSTON CD/32	10	0	10	US\$	60.00	600.00	8,100	81,000	US\$ 135	YEN				IN&D Advisor	28/Mar/2002		供与機材
H13	G13-014	DIGITAL VIDEO CAMERA SONY DCR-TRV140E	3	0	3	US\$	695.00	2,085.00	93,825	281,475	US\$ 135	YEN				JICA (TZ, UG), CD (TZ, UG) Project Coordinator	28/Mar/2002		供与機材
H13	G13-015	SOFTWARE MS OFFICE XP PROFESSIONAL	17	0	17	US\$	250.00	4,250.00	33,750	573,750	US\$ 135	YEN					28/Mar/2002		供与機材
H13	G13-016	SOFTWARE ADOBE PHOTOSHOP 6.0	2	0	2	US\$	795.00	1,590.00	107,325	214,650	US\$ 135	YEN				Project Coordinator	28/Mar/2002		供与機材
H13	G13-017	SOFTWARE NORTON ANTI VIRUS 2002 VERSION	15	0	15	US\$	45.00	675.00	6,075	91,125	US\$ 135	YEN					28/Mar/2002		供与機材
H13	G13-018	CISCO ROUTER 2821 DUAL 10/100	1	0	1	US\$	5,980.00	5,980.00	807,300	807,300	US\$ 135	YEN				AICAD Ex-Office	28/Mar/2002		供与機材
H13	G13-019	VIDEO DUPLICATING SYSTEM SONY ED-100ME, J-3/A, DSR-11, DSC-1024G, etc.	1	0	1	US\$	53,274.85	53,274.85	7,192,105	7,192,105	US\$ 135	YEN				Editor Room	28/Mar/2002		供与機材
H13	G13-020	PUBLIC ADDRESSING SYSTEM SONY SRP-P26, SRP-V110 etc.	1	0	1	US\$	10,399.68	10,399.68	1,403,957	1,403,957	US\$ 135	YEN				ICT Store	28/Mar/2002		供与機材
H13	G13-021	VIDEO EDITING MACHINE SONY UP-2300P	1	0	1	US\$	38,131.61	38,131.61	5,147,767	5,147,767	US\$ 135	YEN				Editor Room	28/Mar/2002		供与機材
H13	G13-022	VIDEO PRINTER SONY UP-2300P	1	0	1	US\$	1,547.24	1,547.24	208,877	208,877	US\$ 135	YEN				Editor Room	28/Mar/2002		供与機材
H13	G13-023	UPS APC-3KVA	2	0	2	US\$	3,500.00	7,000.00	472,500	945,000	US\$ 135	YEN				Editor Room IN&D Advisor	28/Mar/2002		供与機材
H14	G14-001	MINI BUS ISUZU MODEL NFR	1	0	1	Kshs	#####	#####	4,103,715	4,103,715	Kshs 1.612	YEN				Garage	20/Mar/2003		供与機材
H14	G14-002	COPY MACHINE KYOCERA MITA KM2530	2	0	2	US\$	7,810.00	15,620.00	929,390	1,858,780	US\$ 119	YEN				Country Director (Tanzania, Uganda)	31/Mar/2003		供与機材
H14	G14-003	COPY MACHINE/DOCUMENT FEEDER KYOCERA MITA KM1530/STD13	1	0	1	US\$	3,020.00	3,020.00	359,380	359,380	US\$ 119	YEN				Country Director (Kenya)	31/Mar/2003		供与機材
H14	G14-004	BOOKLET MAKING MACHINE DUPLO DBM-120	1	0	1	US\$	7,140.00	7,140.00	849,660	849,660	US\$ 119	YEN				Printing Room	31/Mar/2003		供与機材

年度 NO.	機材名/仕様	取得数量	処分数量	再販数量	通貨	単価	金額	単価	金額(円)	交換レート	金額(円)	通貨	保管場所	使用頻度	状態	備考	取得日	AWB/BL	機材の種類
H14	G14 TRIMMER	1	0	1	US\$	5,460.00	5,460.00	649,740	649,740	US\$ 119	YEN	Printing Room					31/Mar/2003		供与機材
H14	G14 DUPLO DBM-120T	1	0	1	US\$	3,150.00	3,150.00	374,850	374,850	US\$ 119	YEN	Printing Room					31/Mar/2003		供与機材
H14	G14 BBIN COLLATOR with SYSTEM CONNECTION CABINET	1	0	1	US\$	7,900.00	7,900.00	940,100	940,100	US\$ 119	YEN	Printing Room					31/Mar/2003		供与機材
H14	G14 BINDERS	1	0	1	US\$	10,420.00	10,420.00	1,239,980	1,239,980	US\$ 119	YEN	Printing Room					31/Mar/2003		供与機材
H14	G14 COPY PRINTER	21	0	21	US\$	1,100.00	23,100.00	130,900	2,748,900	US\$ 119	YEN	Computer Labo 2					25/Mar/2003		供与機材
H14	G14 DUPLO DP430/43S	21	0	21	US\$	750.00	15,750.00	89,250	1,874,250	US\$ 119	YEN	Computer Labo 2					25/Mar/2003		供与機材
H14	G14 DESKTOP PC EVO D510	11	0	11	US\$	110.00	1,210.00	13,090	143,990	US\$ 119	YEN	Computer Labo 2					25/Mar/2003		供与機材
H14	G14 COMPACT/HP EVO D510	1	0	1	US\$	3,132.50	3,132.50	372,768	372,768	US\$ 119	YEN	Computer Labo 2					25/Mar/2003		供与機材
H14	G14 MONITOR 21"	1	0	1	US\$	440.00	440.00	52,360	52,360	US\$ 119	YEN	Computer Labo 2					25/Mar/2003		供与機材
H14	G14 SAMSUNG SYNC MASTER 1100P	1	0	1	US\$	3,324.50	3,324.50	395,616	395,616	US\$ 119	YEN	Computer Labo 2					25/Mar/2003		供与機材
H14	G14 UPS	2	0	2	US\$	6,050.00	12,100.00	719,950	1,439,900	US\$ 119	YEN	Computer Labo 2					25/Mar/2003		供与機材
H14	G14 DRAWING BOARD/SUPERBOARD	9	0	9	US\$	1,550.00	13,950.00	184,450	1,660,050	US\$ 119	YEN	Computer Labo 2					25/Mar/2003		供与機材
H14	G14 BLUNDELL HARLING Ltd.	1	0	1	US\$	684.00	684.00	81,396	81,396	US\$ 119	YEN	IN&D Advisor					25/Mar/2003		供与機材
H14	G14 XY PLOTTER	21	0	21	US\$	284.00	4,914.00	27,846	584,766	US\$ 119	YEN	Computer Labo 2					25/Mar/2003		供与機材
H14	G14 SOFTWARE	1	0	1	US\$	1,155.00	1,155.00	137,445	137,445	US\$ 119	YEN	Computer Labo 2					25/Mar/2003		供与機材
H14	G14 GIS for 2 USERS ARC GIS	4	0	4	US\$	610.00	2,440.00	72,590	290,360	US\$ 119	YEN	IN&D Advisor (3) ICT Engineer (1)					25/Mar/2003		供与機材
H14	G14 ADDITIONAL CONCURRENT LICENCE ARC GIS	6	0	6	US\$	240.00	1,440.00	25,560	171,360	US\$ 119	YEN	Board Room Seminar Room (Block B&C)					25/Mar/2003		供与機材
H14	G14 SOFTWARE	6	0	6	US\$	40.00	240.00	4,760	28,560	US\$ 119	YEN	IN&D Advisor					25/Mar/2003		供与機材
H14	G14 LASER POINTER	1	0	1	US\$	1,980.00	1,980.00	235,620	235,620	US\$ 119	YEN	Computer Labo 2					25/Mar/2003		供与機材
H14	G14 ACCO LASER 100	1	0	1	US\$	633,745.00	633,745.00	970,264	970,264	Kshs 1.531	YEN	Public Relations Office					31/Mar/2004		供与機材
H14	G14 WINDOWS 2000 SERVER (20 CLIENTS LICENCES)	1	0	1	US\$	280,000.00	280,000.00	428,880	428,880	Kshs 1.531	YEN						31/Mar/2004		供与機材
H14	G15 PRINTER COPIER	7	0	7	Kshs	101,400.00	709,800.00	155,243	1,086,701	Kshs 1.531	YEN						31/Mar/2004		供与機材
H14	G15 KYOCERA MITA KM5035	1	0	1	Kshs	25,000.00	175,000.00	38,275	267,925	Kshs 1.531	YEN						31/Mar/2004		供与機材
H14	G15 SYMANTEC ANTIVIRUS CORPORATE EDITION 8.1 FOR SERVER	4	0	4	Kshs	29,900.00	119,600.00	45,777	183,108	Kshs 1.531	YEN						31/Mar/2004		供与機材
H14	G15 LAPTOP COMPUTER	40	0	40	Kshs	19,000.00	760,000.00	29,089	1,163,560	Kshs 1.531	YEN	Hostel					31/Mar/2004		供与機材
H14	G15 DELL INSPIRON 5150 with NORTON SYSTEM WORKS 2004	40	0	40	Kshs	8,500.00	340,000.00	13,014	520,560	Kshs 1.531	YEN	Hostel					31/Mar/2004		供与機材
H14	G15 COLOUR PRINTER	2	0	2	Kshs	99,500.00	199,000.00	152,335	304,670	Kshs 1.531	YEN						31/Mar/2004		供与機材
H14	G15 DIGITAL CAMERA	1	0	1	Kshs	85,000.00	85,000.00	130,135	130,135	Kshs 1.531	YEN						31/Mar/2004		供与機材
H14	G15 HP PHOTOSMART 935																		供与機材
H15	G15 COLOUR TELEVISION with REMOTE CONTROL																		供与機材
H15	G15 LG 21"																		供与機材
H15	G15 TV CABINET VENEERED FINISH 1400 x 600 x 500																		供与機材
H15	G15 MAHOGANY VENEERED FINISH 1400 x 600 x 500																		供与機材
H15	G15 AIR CONDITIONER																		供与機材
H15	G15 DAIKIN 24000 Btu/hr WALL TYPE																		供与機材
H15	G15 AIR CONDITIONER																		供与機材
H15	G15 DAIKIN 18000 Btu/hr WALL TYPE																		供与機材

フェーズ1 JICA現地業務費

ITEM	フェーズ1					
	2000年度		2001年度		2002年度(2002年7月まで)	
	Ksh	US\$	Ksh	US\$	Ksh	US\$
1. 活動費	4,469,453.06	58,808.59	28,078,733.53	370,431.84	6,908,183.56	93,606.82
a) 日常の経費	1,138,580.46	14,981.32	15,155,644.96	199,942.55	3,937,777.66	53,357.42
b) 研究開発事業				0.00	0.00	0.00
c) アジア・アフリカ協力						0.00
d) 研修・普及事業	3,330,872.60	43,827.27	12,923,088.57	170,489.30	1,745,799.30	23,655.82
e) IWC/ICC					1,224,606.60	16,593.59
f) 情報整備・発信事業*1						
g) AICAD/UNCRD共同第三国研修						
2. 施設整備・機材費	39,402,143.36	518,449.25	22,818,102.80	301,030.38	0.00	0.00
施設整備 (old building designing)	429,000.00	5,644.74	7,416,044.60	97,837.00		
機材調達	2,712,972.00	35,697.00	6,583,988.00	86,860.00		
	1,700,000.00	22,368.42	4,453,284.00	5,980.00		
	2,888,144.00	37,344.00	4,943,810.17	65,221.77		
	12,597,027.36	165,750.36	3,420,976.04	45,131.61		
	19,125,000.00	251,644.74			62,220,246.16	819,479.63
合計	43,871,596.42	577,257.85	50,896,836.33	671,462.22	6,908,183.56	93,606.82
Rate US\$=	76.00Ksh		75.80Ksh		73.80Ksh	

*1 2004年度

フェーズ2 JICA現地業務費

ITEM	フェーズ2					
	2002年度(2002年8月から)		2003年度		フェーズ2 合計	
	Ksh	US\$	Ksh	US\$	Ksh	US\$
1. 活動費	44,487,598.42	602,812.99	88,027,553.15	1,214,173.15	132,515,151.57	1,816,986.13
a) 日常の経費	8,365,886.19	113,358.89	18,285,401.74	252,212.44	26,651,287.93	365,571.33
b) 研究開発事業	20,396,594.98	276,376.63	33,872,036.10	467,200.50	54,268,631.08	743,577.12
c) アジア・アフリカ協力	2,914,753.00	39,495.30	3,506,111.50	6,980.85	3,420,864.50	46,476.15
d) 研修・普及事業	9,176,166.90	124,338.30	26,358,508.71	363,565.64	35,534,675.61	487,903.94
e) IWC/ICC	3,634,197.35	49,243.87	2,603,138.10	35,905.35	6,237,335.45	85,149.22
f) 情報整備・発信事業*1						
g) AICAD/UNCRD共同第三国研修					640,235.7	88308.37241
2. 施設整備・機材費	14,296,386.40	193,717.97	21,505,703.75	296,630.40	35,802,090.15	490,348.37
施設整備 (old building designing)	2,545,729.00	34,494.97	2,029,745.00	27,996.48	4575474	62491.45566
機材調達	5,414,189.40	73,363.00	378,200.00	5,216.55	5792389.4	78579.55172
	6,190,344.00	83,880.00	2,228,293.75	30,735.09	8418637.75	114615.0862
	146,124.00	1,980.00	1,100,000.00	15,172.41	1246124	17152.41379
			15,769,465.00	217,509.86	15769465	217509.8621
合計	58,783,984.82	796,530.96	109,533,256.90	1,510,803.54	168,317,241.72	2,307,334.50
Rate US\$=	73.80Ksh		72.50Ksh			

2004年10月5日現在

(US\$)

July 2000-June 2001

国名	a) 申請額	b) 予算承認額	b/a (%)			拠出額			c/a (%)	c/b (%)
			申請額	承認額	承認率	拠出日	金額	拠出日		
ケニア	415,071	266,667	64%	4-May-01	66,667	28-Jun-01	200,000		64%	100%
ウガンダ										
タンザニア										
合計	415,071	266,667	64%					266,667	64%	100%

July 2001-June 2002

国名	a) 申請額	b) 予算承認額	b/a (%)			拠出額			c/a (%)	c/b (%)
			申請額	承認額	承認率	拠出日	金額	拠出日		
ケニア	586,936	200,000	34%	12-Oct-01	200,000				34%	100%
ウガンダ										
タンザニア										
合計	586,936	200,000	34%					200,000	34%	100%

July 2002-June 2003

国名	a) 申請額	b) 予算承認額	b/a (%)			拠出額			c/a (%)	c/b (%)	
			申請額	承認額	承認率	拠出日	金額	拠出日			金額
ケニア	408,122	435,330	107%	7-Oct-02	108,833	28-Feb-03	108,833	11-Jul-03	217,665	107%	
ウガンダ	228,122	175,000	77%	5-Dec-02	54,055	27-Mar-03	17,561	11-Jul-03	14,823	61%	
タンザニア	228,122	200,000	88%	20-Nov-02	25,434	9-Jan-03	75,382	11-Jul-03	22,300	86%	
合計	864,366	810,330	94%						96,404	89%	
Grand Total									771,143	89%	95%

July 2003-June 2004 US\$

国名	a) 申請額	b) 予算承認額	b/a (%)			拠出額			c/a (%)	c/b (%)	
			申請額	承認額	承認率	拠出日	金額	拠出日			金額
ケニア	475,826.00	441,294.16	93%	13-Oct-03	110,323	17-Dec-03	110,324	4-Apr-04	110,324	93%	
ウガンダ	453,159.33	175,000.00	39%	19-Dec-03	30,582	26-Jan-04	13,820	1-Mar-04	29,808	42%	
タンザニア	453,159.33	250,000.00	55%	17-Sep-03	49,093	5-Dec-03	63,874	17-Mar-04	53,825	51%	
合計	1,382,145	866,294	63%						62,093	62%	
Grand Total									859,240	62%	99%

July 2004-June 2005 US\$ (Exchange rate on 22nd Sep 2004)

国名	a) 申請額	b) 予算承認額	b/a (%)			拠出額			c/a (%)	c/b (%)	
			申請額	承認額	承認率	拠出日	金額	拠出日			金額
ケニア	519,345.00	413,713.30	80%							0%	
ウガンダ	516,678.00	277,094.80	54%							0%	
タンザニア	516,678.00	366,972.50	71%	3-Sep-04	45,793					12%	
合計	1,552,701	1,057,781	68%							45,793	
Grand Total									45,793	3%	4%

9-6. カウンターパートリスト

	役 職	氏 名	雇用形態
1.	Executive Secretary	Prof. A.B. Gidamis	Regional
2.	Deputy Executive Secretary	Dr. J. K.Z. Mwatelah	Regional
3.	A&F Coordinator	Mr. M.A. Muhwezi-Murari	Regional
4.	Internal Auditor	Mr. Allen Chombo	Regional
5.	Accountant	Mrs. A.A. Kinya	Regional
6.	T&E Coordinator	Dr. J.A. Kembo	Regional
7.	Assistant T&E Coordinator	Ms. C. Kajumba	Regional
8.	R&D Coordinator	Dr. B.M. Mtasiwa	Regional
9.	Assistant R&D Coordinator	Mr. P. Wakhu	Regional
10.	IN&D Coordinator	Dr. B. Bazirake-Bamuhiiga	Regional
11.	Systems Administrator	Ms J. Kwoba-Abungu	Regional
12.	A&F Secretary	Mrs E.W. Mwaura	Local
13.	ES/DES Secretary	Mrs. M.K. Osean	Local
14.	Accounts Assistant	Mr. S.W. Ngugi	Local
15.	Library Technician	Ms. W. N. Nguyu	Local
16.	Office Administrator	Mrs. S.K. Onyonka	Local
17.	Office Attendant	Mr. D. Odanga	Local
18.	Office Attendant	Ms. J.N. Njoka	Local
19.	Driver	Mr. B.K. Thuku	Local
20.	Driver	Mr. J.M. Kiilu	Local

10. AICADの活動状況

<総合>

		活動内容	一般	A/F	R/D	T/E	IND
準備フェーズ	1998	10 TICAD II ** 人造り拠点構想					
	2000	3 8 大学学長とJICAによるコミュニケ発表-3機能活用合意	*				
		6 準備フェーズR/D締結 (タンザニア7月, ウガンダ01年5月)	*				
		8 熊野チーフアドバイザー、飯田調整員着任	*				
		8 JKUATから6名が出向	*				
		11 無償基礎調査団 事業概要確立	*				
	2001	1 ケニア5大学 キャパシティー調査実施	*				
		1 基盤整備費による本部建設開始	*				
		1 運営指導調査団					
		1 第1回JWC、JCC会議 (組織構造、活動概要)		*			
		1 第1回供与機材契約 (本部整備機材-サーバー、PC、車両他)	*				
		2 山本専門家着任 (研究開発部門)			*		
		3 無償ドラフト調査団 設計概要	*				
		3 貧困対策フォーラム (黒河内大使)				*	
		6 第2回JWC会議 (規則・規定)		*			
		6 基盤整備費による本部建設完了	*				
		6 館内LAN、インターネットアクセス開始					*
		6 インドネシア南南協力調査団	*			*	
		6 AICAD News Letter 第1号発行					*
		6 第1回ケニア貧困対策ワークショップ開催				*	
		7 無償フォローアップ調査団	*				
		8 第3回JWC、第2回JCC会議 (規則・規定及びパイロット事業計画承認)		*			
		8 パイロット共同研究公募 (4分野)			*		
		8 パイロット共同研修テーマ公募				*	
		9 独立機関としての規則・規定集をケニア大統領府へ提出	*	*			
		9 AICAD調査団インドネシアへ派遣	*	*			
		10 第1回研修員派遣 (プロジェクトマネージャー、所長、副所長)	*				
		10 パイロット共同研究公募案件1次選定、WG審査依頼			*		
		10 パイロット共同研修 3オーガナイザー選定				*	
		11 同上 第1回調整会議-2大学共同実施概要決定				*	
		12 無償契約調印 (東京)	*				
		12 パイロット共同研究者 4分野11名決定			*		
		12 パイロット共同研修 第2回調整会議-カリキュラム構成決定				*	
	12 独自インターネットドメイン取得、ホームページ掲載開始					*	
	2002	1 第2回供与機材契約 (ビデオ複製・編集機、PC、車両他)	*				
		1 タンザニア、ウガンダ大学キャパシティー調査実施	*				
		1 Sulabaya Polytechインドネシア第3国研修調査団				*	
		1 柏木専門家着任 (情報・広報分野)					*
		1 第2回AICAD News Letter発行					*
		2 準備フェーズ評価調査団	*	*			
		2 第4回JWC、第3回JCC会議 (3カ国からの人事、資金投入計画承認)		*			
		2 パイロット共同研究調整会議			*		
2 パイロット地域研修 (水管理・灌漑) 実施					*		
2 山本専門家離任 (研究・開発部門)				*			
2 中澤調整員着任		*					
2 第2回ケニア貧困対策ワークショップ開催					*		
3 インドネシア第3国研修 (貧困対策) AICAD職員1名研修派遣					*		
3 パイロット共同研究実施 (4分野11件)				*			
4 第3回AICAD News Letter 発行						*	
5 第2フェーズPCM会議開催	*						

		8	第2フェーズR/D調査団	*	*						
		8	第5回JWC、第4回JCC会議(第2フェーズ実施概要、R/D内容協議)		*						
		8	第2フェーズR/D 3カ国同時調印	*	*						
		8	ケニア大統領府AICAD規則・規律集、独立機関創設承認	*	*						
第 2 フ ェ ー ズ	2002	8	第2回共同研究公募				*				
		8	AICAD 職員募集(新聞掲載)		*						
		9	花井チーフアドバイザー着任	*							
		9	熊野チーフアドバイザー離任	*							
		9	第4回AICAD News Letter 発行							*	
		10	インドネシア貧困第3国研修ケニア、ウガンダ各1名研修派遣						*		
		10	インドネシアIT第3国研修ケニア、タンザニア各1名研修派遣						*		
		10	カントリーダイレクター3名インドネシアへ派遣	*							
		10	第6回JWC会議(人事予備選考)	*							
		10	武藤専門家着任(研修・普及部門)							*	
		10	第2回研究公募案件1次選定、WG審査依頼						*		
		11	インドネシア大使館にて南南協力実施報告	*							
	11	地域採用人事面接	*								
	11	第1回タンザニア貧困対策ワークショップ							*		
	11	第1回水資源灌漑研修(現地国内研修 タンザニア)							*		
	11	第1回ウガンダ貧困対策ワークショップ							*		
	11	第1回水資源灌漑研修(現地国内研修 ウガンダ)							*		
	12	地域採用人事選考会議	*								
	第 2 フ ェ ー ズ	2003	1	新スタッフ着任(Deputy Executive Secretary, Accountant, Office Administrator 他7名)	*						
			1	第2回水資源灌漑研修(域内研修)オーガナイザー調整会議						*	
			1	無償施設完成及び移転作業	*						
			1	第3回供与機材契約(ミニバス、簡易印刷セット、GIS関連PC他)	*						
			1	ニーズ調査実施	*						
			1	第1回水資源灌漑研修(現地国内研修 ケニア)開催							*
			1	第2回水資源灌漑研修(域内研修)開催							*
			1	国内委員短期専門家派遣	*						
			2	ニーズ調査実施報告書(ケニア、タンザニア、ウガンダ貧困削減戦略ペーパー研究)出版	*						
			2	新スタッフ着任(T&E Coordinator, System Administrator)	*						
2			第7回JWC、第5回JCC会議			*					
2			AICAD本部開所式	*	*						
2			高村、斎藤短期専門家(運営指導)								
2			JICA 水・農業開発セミナー開催	*						*	
2			AICAD/UNCRD 合同研修:第8回地域開発計画(第3国研修)							*	
3			新スタッフ着任(Executive Secretary, A&F Coordinator, IN&D Coordinator)	*							
3			ミチエカJCC副議長(ジョモ・ケニヤッタ農工大学学長)離任	*							
3			北川、木村短期専門家(農業開発、工業開発)	*							
3			第2回共同研究調整会議						*		
3			KISM GISセミナー			*					
3			東アフリカ大学連合 / SIDA Victoria Lake 研究会議			*					
4			第2回公募研究(23件)及びパイロット継続研究(3件)実施開始						*		
4			新スタッフ着任(Internal Auditor)								
4			榎原専門家着任(研究・開発部門)						*		
4			濱口企画調査員着任(ウガンダ アフリカ人造り拠点支援)	*							
4			新スタッフに対するオリエンテーション	*							
5			新スタッフ着任(R&Dコーディネーター他 2名)								
5			カントリー・ダイレクター会議	*							

	5	AICAD News 4、5号(2003年1、4月合冊版)					*
	5	新スタッフ着任 1名					
	6	東アフリカ貧困削減のための戦略立案・開発ワークショップ	*				
	6	第8回JWC会議	*				
	7	AICADウェブサイト改訂、データベースのアップロード					*
	7	水資源灌漑研修:ファシリテーター研修(域内研修) 準備会議				*	
	7	AICAD News 6号(2003年7月版)					*
	7	第6回JCC会議	*				
	7	田中、萩原短期専門家(社会開発 ジェンダー、環境)	*		*	*	
	8	第1回水資源灌漑研修:ファシリテーター研修(域内研修)開催				*	
	8	第3回研究公募			*		
	9	新規研修開発にかかわるステークホルダー会議(ウガンダ)開催				*	
	9	平林(事業運営管理)着任		*			
	9	Gidamis TICADⅢ出席	*				
	10	AICAD Research Mini-reviews Vol. 1 発行			*		
	10	AICAD News No. 7 発行	*				
	10	飯田(業務調整)離任	*				
	11	第2回研究審査委員ワークショップ及びプロポーザル審査会開催			*		
	11	第2回水資源灌漑研修(現地国内研修 ケニア)開催				*	
	11	第2回水資源灌漑研修(現地国内研修 ウガンダ)開催					
	11	屋富祖(ウェブサイト構築)、新城(データベース構築)短期専門家					*
	12	第2回研究選考会議			*		
	12	第1回AGM、第7回JCC開催	*				
2004	1	柏木(情報・広報)離任					*
	1	AICAD Research Final Reports' Abstracts -Pilot Phase-発行			*		
	1	小山、山中(研究審査支援)短期専門家			*		
	1	パイロット研究成果発表会			*		
	1	第2回研究中間報告会			*		
	1	第3回研究調整会議			*		
	1	パイロット研究成果報告書			*		
	1	AICAD News No. 8 発行					
	1	第3回水資源灌漑研修(域内)開催				*	
	1	AICAD/UNCRD 合同アジア-アフリカ調査(タイ)	*		*	*	
	1	第2回水資源灌漑コース(国内):モニタリング(ウガンダ)実施				*	
	2	JICA 国際稲作振興セミナー開催	*				
	2	第2回水資源灌漑研修(現地国内研修 タンザニア)開催				*	
	2	AICAD/UNCRD合同研修:第9回地域開発計画(第3回研修)				*	
	2	WAITRO Senior Vice President Prof. A. Manan AICAD視察	*				
	2	JICA 松岡副理事長 AICAD 視察	*				
	3	三好(評価手法)短期専門家	*		*	*	
	3	石田(戦略計画立案指導)短期専門家	*				
	3	栗野(戦略計画策定管理)短期専門家	*				
	3	海老原(ウェブサイト構築)短期専門家					*
	3	松本(研究開発)短期専門家			*		
	3	Report on 2nd ITC Course(ウガンダ)発行					
	3	運営指導調査団(研修分野)				*	
	3	木村(情報部門整備計画)短期専門家					*
	4	パイロット研究評価レポート			*		
	4	AICAD Research Mini-reviews Vol. 2 発行			*		
	4	AICAD News No. 9 発行					
	4	第3回公募研究(40件)実施開始			*		
	5	緒方JICA総裁AICAD視察	*				

5	堀江WARDA理事・京大教授AICAD視察	*		*		
5	新規研修コースに係るベースライン調査実施（ウガンダ）				*	
6	運営指導調査団	*				
6	第9回JWC会議	*				
6	第8回JCC会議	*				
6	小山、山中（研究成果普及計画指導）短期専門家			*		
6	研究成果普及シンポジウム開催			*		
6	新規研修開発にかかわるステークホルダー会議（ケニア）開催				*	
7	ムタシワ研究開発部長、ケンボ研修部長本邦研修			*	*	
7	水資源灌漑研修：域内・国内モニタリング（ケニア）実施				*	
7	水資源灌漑研修：域内・国内モニタリング（ウガンダ）実施				*	
7	AICAD Research Mini-reviews Vol. 3 発行			*		
7	AICAD戦略計画完成	*				
7	中川（業務調整）着任	*				
7	AICAD カフェテリア開店	*				
8	清水（タンザニア事業運営企画）着任	*				
8	中澤（業務調整）離任	*				
8	AICAD/JICA調査団をタイに派遣（南南協力）		*			
8	AICAD広報・新規研修開発ステークホルダー会議（タンザニア）開催	*	*	*	*	*
8	第1回水資源灌漑コース：グラスルーツ研修（ウガンダ）				*	
8	水資源灌漑コース：域内技術交換研修（ケニア→ウガンダ）実施				*	
8	稲垣（シニア・アドバイザー）着任	*				
8	木村（情報収集加工）着任					
8	戦略計画を加盟大学に説明	*				
9	花井（シニア・アドバイザー）離任	*				
9	村上（ネットワーク技術）短期専門家					
9	第1回水資源灌漑コース：グラスルーツ研修（ケニア）				*	
9	水資源灌漑コース：域内技術交換研修（ウガンダ→ケニア）実施				*	
9	第2回研究成果発表会			*		
9	新コース開発にかかわるカリキュラム開発ワークショップ（ウガンダ）開催				*	
9	JICA ネリカセミナー開催					
10	第2回研究成果報告書			*		
10	パイロット研究継続分（9件）第2回公募研究継続分（19件）実施開始			*		
10	JICA-Net テレビ会議（国内支援委員会）	*				
10	水資源灌漑研修：ファシリテーター研修（ケニア）開催				*	
10	新コース開発にかかわるカリキュラム開発フォローアップ（ウガンダ）開催				*	
10	AICAD Research Mini-review No. 3 発行			*		
10	Report of 1st ICT Course（国内：ケニア）発行				*	
10	Report of 2nd ICT Course（国内：ケニア）発行				*	
10	Report or 3rd RTC（域内）発行				*	
10	Report on 2nd ICT Course（国内：タンザニア）発行				*	
10	NEPADラーヘッド、エジプト事務所和田AICAD訪問	*				
11	中間評価調査団	*	*	*	*	*
11	栗野（戦略計画調整）短期専門家	*				
11	第10回JWC（ケニア）	*				
11	第9回JCC（タンザニア）	*				
11	第2回AGM（タンザニア）	*				
11	Asia Africa Partnership Workshop	*				
12	ウガンダITC3研修				*	